

創立五十周年記念誌

五十年のあゆみ



函館市立五稜中学校

50

年のあゆみ
The 50 year's history of Goryo

2011.10.20

創立五十周年記念誌

目次

表紙画 安井 孝

(本校に昭和三十八年四月～昭和四十四年三月まで勤務)

表紙題字 小林 恵美子 (本校養護教諭)

■巻頭特集

▽全校生徒集合写真

▽校訓・五稜三訓紹介

▽校章・校旗紹介

▽校歌紹介

■お祝いの言葉

▽巻頭言にかえて

▽祝 辞

▽祝 辞

▽祝 辞

▽祝 辞

▽祝 辞

■五十年のあゆみ

▽沿革

▽旧職員紹介

■思い出のアルバム

■思い出を語る

■五稜中の足跡

函館市立五稜中学校 校長 青木 完二

実行委員会 会長 對馬 浩

函館市立五稜中学校 PTA会長 工藤 壽樹

函館市長 山本 真也

実行委員会 副会長 小松 将人

函館市立五稜中学校同窓会 会長 石黒ゆかり

函館市立五稜中学校 生徒会長

7

19

21

29

39



The 50th Anniversary



祝



創立50周年



校訓

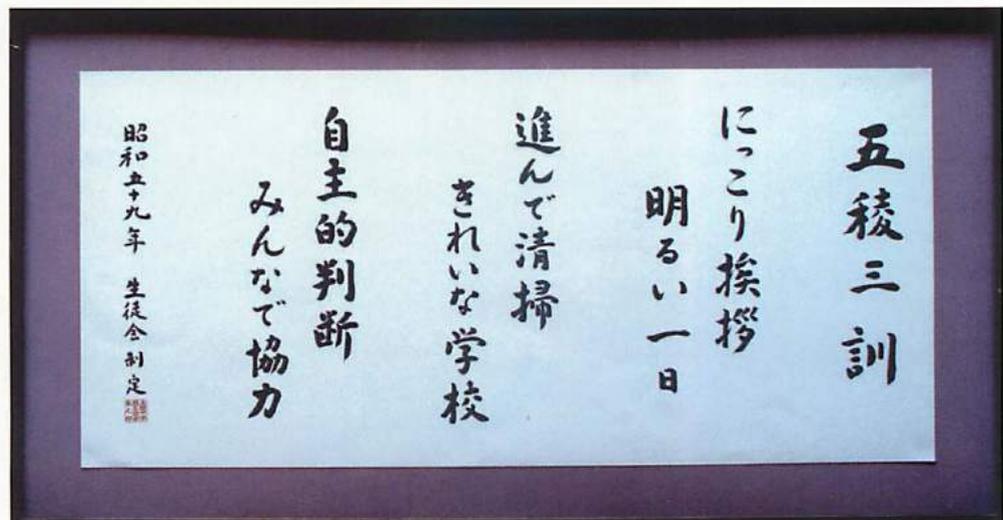
誠実 協調 真理 探求

五稜中学校
北海高等学校書

昭和五十九年五月

五稜三訓

- 昭和55年度
 - 学校生活における基本的な生活習慣の確立を図るため、「校内生活二十訓」を制定
- 昭和57年度
 - 生徒会生活委員会が「校内生活二十訓」を「生活十訓」に改変
- 昭和59年度
 - 基本的生活習慣の全校的定着を図るために指導方針を検討
 - 「生活十訓」を精査し、重点指導事項を洗い出す
 - 重点指導事項洗い出しの具体的取組を生徒会活動に位置付け、全校・全学級で話し合う
 - 全校的に長時間かけ検討し、生徒一人一人の意識変革を促すよう働きかける
 - 5月、生徒会総務局より「五稜三訓」制定の提案がされ、全学級、生活委員会、代議員会等、生徒会組織全体で討議
 - 9月、代議員会で討議内容を集約、「生活十訓」から、三箇条の重点項目を抜粋
 - 挨拶と会釈、そして品のある言葉づかいを身につけよう
 - 校舎の清掃美化に努め、いたづらや落書きをしないようにしよう
 - 良識ある行動と協力的な態度をもって、自己を高めよう
 - 10月、代議員会で検討した三箇条を生徒会総務局が、より簡潔に、より親しみのある表現にする
 - にっこり挨拶 明るい一日
 - 進んで清掃 きれいな学校
 - 自主的判断 みんなで協力
 - 12月、59年度生徒会役員「五稜三訓」をパネル制作、南北両玄関壁面上部に掲示。学校生活の行動・生活の具体的な指標とする



校章

・昭和三十七年三月六日 制定

- 1 外形波五稜郭の五角形を型どり、地域性を重視した表現
- 2 花は五稜郭城跡の桜の花で、文化を意味し、自主勉勵によって一層文化の発展向上を図る意味を表す
- 3 五稜郭を型どる線の間にある点は、つばみを表し、若い萌え出る力が手をつなぎあい、友愛 協調の精神を表現



校旗



五稜中学校校歌

昭和38年10月10日 制定
 史蹟五稜郭、新川の清い流れのほりにある我が校が四季折々に受ける
 立派な環境のもとに、温故知新、友愛協調、自主勉勵、真理探求の精神
 を磨き、生徒の将来に荣誉と発展を祈念し制定

誇りにみちて明るく

♩=108~112

小島 昌平 作詞
 酒井 武雄 作曲



1. ひんがしにこじょういだきて
 2. さくらばなしるしとあおぎ



た—た—なわ る ごりょうが—か は
 と—も—がき の かたくむす—び て



わこ—うど の いぶきにみ—ちぬ
 うち—ならす じしゆの—かね—の—ね



み—な—か—み—に— ふるきを—た—ず—ね
 ひ—と—す—じ—に— ま—こ—と—を—き—わ—め



あ—た—ら—し—き— ひかりに—た—ち—て
 き—ず—き—ゆ—く— り—そ—う—の—す—が—た

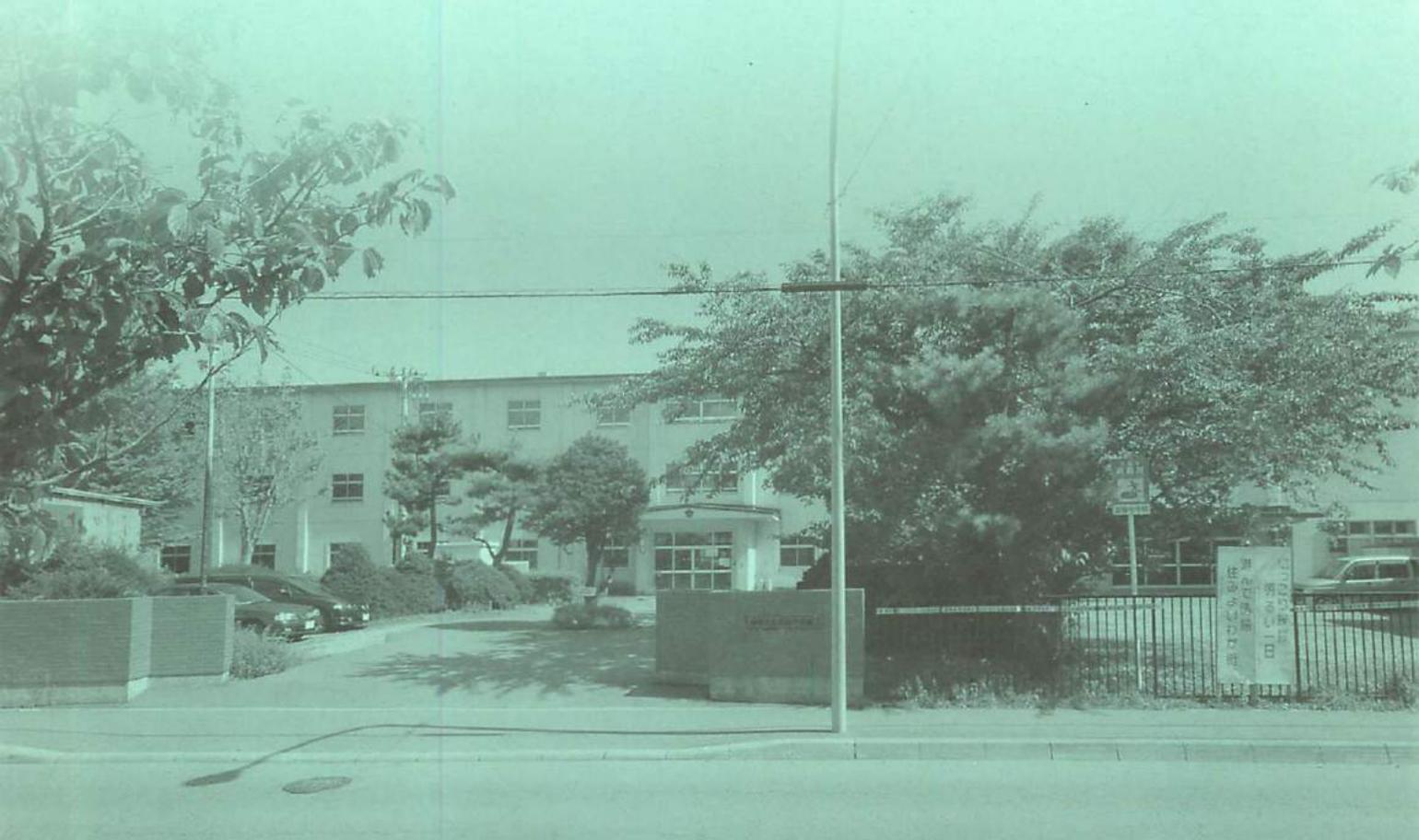


お—お—い—な—る— ち—か—ら—の—ば—さん— ら—の—ば—さん—
 あ—あ—と—わ—に— わ—れ—ら—は—え—あ—れ— ら—は—え—あ—れ—

五稜中学校校歌

ああとわに	築きゆく	ひとすじに	うち鳴らす	友がきの	さくら花	大いなる	新しき	水上に	若人の	たたなわる	ひんがしに
われら榮えあれ	理想のすがた	まことを窮め	自主の鐘の音	堅く結びて	しるしと仰ぎ	力伸ばさん	光に立ちて	ふるきをたずね	息吹に満ちぬ	五稜が丘は	古城いだきて

挨拶・祝辞





創立五十周年を迎えて

函館市立五稜中学校 校長

青木 完二

函館市立五稜中学校の創立五十周年の記念すべき節目を迎えるにあたり、関係の皆様と心から喜び、お祝いをしたいと思います。

本校は、昭和三十六年に大川中学校と中央中学校（現凌雲中学校）の校舎を間借りし、函館市立大川中学校田家分教場として、学年、七学級、三百四名の生徒と十一名の職員で、その歴史を開始いたしました。現在の校舎は、その年の十二月に完成し、翌昭和三十七年から、校名を「函館市立五稜中学校」と決定し、本格的な学校の歴史を刻んだところであります。当時は、施設的には、まだまだ整備が行き届かず、新しい五稜中学校の歴史を築くため、生徒や先生方、さらには、父母や地域の皆様が一丸となって、多くの努力が尽くされたかと伺っております。

初代沼山吉之助校長先生が生徒会誌の巻頭言の中で、当時の様子を語っていますので、紹介いたしますが、「（略）昭和三十六年四月、本校の一回生として入学式場にならんだかわいらしい諸君が、今では見上げるまでに成長している。それもその筈、あれから三年も経った、実に月日の経つのは早いものだ。この間、耳にたこが出るほど聞かされたことは、「諸君は

第一回の入学生であると同時に、第一回の卒業生である」ということであった。第一回の卒業はどの学校にもあるが、諸君は二年生に入学したときから、先輩たる資格を背負う運命に立ったわけだ。それだけに、三年間は苦勞と努力の連続で実によく頑張った。校舎のない学校に入学したため大川、中央（今の凌雲）の両校で間借りの勉強をした。又新校舎に移転しても未完成のため増築工事が続き、本年度第三期工事で理科と家庭の二教室が落成しただけで、全部完成の学校で勉強できず卒業することになったことは残念でならない。（略）「当時のたいへんさがよくわかるものでありますが、一方では、第二回生を中心に、校舎内外の整備に汗を流しながらも、勉学に励み、新たな学校を創っていくという思いを胸に、現在の五稜中学校の歴史と伝統の礎を築いたのであります。以来、本校を巣立った生徒は、八千七百三十八名にのぼり、多くの卒業生が、全道、全国の様々な分野で活躍しているところであります。」

現在、本校は、各学年二学級、全校生徒百八十五名という規模にまで減少してきておりますが、生徒たちは、本校に脈々と流れる歴史と伝統をしっかりと

と受け継ぐべく、日々の活動に全力で取り組んでおります。

とりわけ、昭和五十九年に当時の生徒自らが制定した「五稜三訓」

◆「つこり挨拶 明るい一日

◆進んで清掃 きれいな学校

◆自主的判断 みんなで協力

を節目となる学校行事や集会等で、全校生徒が暗誦するなど、自校の歴史と伝統を受け継ぐ意識をしっかりと抱きながら、自らの手で学校を創造していくという気概をもち、勉学に励んでおります。教職員においても、生徒が将来、社会にでも困らない知徳体の総合的な力である「未来の力」をしっかりと身につけることができるよう、全員が一丸となって日々の教育を積み上げております。どうか、今後とも、輝かしい五稜中学校の歴史と伝統を受け継ぎ、本校教育の更なる発展を期して努力いたしますので、これまでと変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。終わりになりますが、この度の周年事業にかかわりました多くの関係各位の皆様にご感謝を申し上げます。挨拶いたします。



創立五十周年に寄せて

創立五十周年記念実行委員会 会長
函館市立五稜中学校 P.T.A会長

對馬 浩

この度は、函館市立五稜中学校が、創立五十周年という節目の年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。このような意義深い年に協賛会実行委員会会長の任に携わることが、その責任の重さを今改めて痛感しているところでございます。

本校は、昭和三十六年に函館市立大川中学校田家分教場として開設され、翌年には函館市立五稜中学校として開校しました。校名を決める時にアンケート調査をするなど紆余曲折を経て、現在の校名に決まったとも聞いております。校章についても当時の美術の先生が考案した作品の中から選ばれたそうです。当時の初代沼山校長が五稜郭城と桜の花びらをデザインに取り入れて欲しいことをその先生にお願いしていたそうです。文字通り校章は、五稜郭の五角形で地域を、花は桜の花で文化を、線の間にある点は蕾で若い力を表しています。開校当時から今日まで五十年の歴史を経てしっかりと伝統が受け継がれております。生徒数三百四名の開校から今日まで八千七百余名という多くの卒業生を輩出してきました。「誠実協調・真理探究」の校訓のもと「五稜中学校で学んだ」という誇りと自信をもち、道内

外の各界各層でご活躍されておりますことは、誠に嬉しい限りです。これもひとえに、この間の歴代校長先生や多数の教職員のご功績と、地域住民の方々の本校の教育活動に対する深いご理解の賜物と、衷心より敬意を表するとともに感謝申し上げます。

さて、現在、核家族化や少子高齢化、高度情報化時代を迎え、一昔前より人間関係が希薄化し、子どもたちの人との関わり合う経験不足やコミュニケーション能力の低下、家族・地域の教育力の低下が指摘されています。現在のような情報氾濫の社会において、子どもたちのものの見方、考え方、感じ方、行動は、多種多様な情報の影響を受けています。

このような社会だからこそ、自分の力で生きていこうとする「自立」の力、様々な人との関わりを通して、相手を思いやり、互いに高め合いながら生きていこうとする「共生」の心を育むことがより大切になってきています。子育ての基盤となる家庭、人間性や社会性を涵養する場となる地域、子ども達の学びの中心となる学校が、共に手を携えて、それぞれのミッションをしっかりと果たすことがとても大事です。

本校は、生徒会が昭和五十九年に「五稜三訓」を制定し、その教えが脈々と受け継がれています。ニッコー挨拶してくれる、いわれなくても掃除をしてくれる、今何をすべきかを考え行動に移してくれる。地域にはなくてはならない子ども達です。まさに宝です。

本校の発展のため、これまでに並々ならぬご尽力を頂きました教育関係者を始め、P.T.A、同窓会、町内会、地域の皆様方に、心からお礼を申し上げますとともに、この創立五十周年記念事業の推進に物心両面にわたりまして絶大なるご協力を賜りましたことを重ねて厚くお礼申し上げます。挨拶いたします。



創立五十周年を祝して

函館市長

工藤 壽樹

このたび、函館市立五稜中学校が創立五十周年を迎えられたことに、心からお祝いとお喜びを申し上げます。

本校は、田家町近辺の急激な人口増加により、函館市立大川中学校分教場として昭和三十六年に誕生しました。

当時は、中央中学校（現凌雲中学校）を間借りしての開校であり、翌昭和三十七年に校舎が落成してからも、校地の整備は十分ではなく、当時の生徒、教職員やPTAの方々は一致団結して、共に汗を流しながら校地内の整備にあたられたと伺っております。

以来五十年、貴校は校訓の「誠実・協調・真理探究」を学校経営の中核としながら、開校当時から教職員・生徒・保護者の団結力を生かして、地域に根差した創意ある教育活動を展開し、函館の内外に有為な人材を輩出してこられました。

とりわけ生徒会による「五稜三訓」の制定に見られるように、教職員と生徒が共に手を携え、最善を追い求める、気概に満ちた教育実践を積み重ねられてきたことに敬意を表するとともに、校長先生をはじめとする教職員の皆様、保護者の皆様、地域の皆

様、同窓の皆様にご改めて感謝を申し上げる次第であります。

さて、貴校が歩んできた五十年とともに、函館市も大きな発展を遂げてまいりました。かつて湿地だった現在の校舎周辺は、住宅や商店が立ち並び、近隣には特別史跡五稜郭を訪れる観光客の姿も多数見られます。本年五月には、海外の旅行ガイドブックで、当市の夜景が大変高い評価をもって紹介され、十月にオープンする縄文文化交流センターなども併せて、函館は国際観光都市として、これまで以上に様々な方が注目し、足を運ぶまちとなることが期待されます。

そのためには、当市においても、新たな時代への挑戦が必要であり、改革を進めるべく、目下、市を挙げて取り組みを始めたところであります。

現在、国際観光都市の名にふさわしいまちづくりの構想を固めているところでありますが、その施設や設備にどのような息吹を吹き込んでいくのかは、函館の市民の皆さん一人ひとりの力にかかっていると考えているところであります。

今後とも、貴校におかれましては、函館市の発展

と市民の幸福のために、これまでの伝統を生かし、函館のまちを愛し、まちづくりに積極的に参画する子どもたち、また、貴校の校訓と郷土への誇りを胸に、世界に羽ばたく国際人となるような子どもたちの育成を切に願います。

結びになりますが、創立五十周年を機に、函館市立五稜中学校が更なる輝かしい歴史を刻まれますとともに、関係諸氏のご多幸をご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



創立五十周年を新たな契機に

函館市教育委員会教育長

山本真也

函館市立五稜中学校の創立五十周年、この佳き節目の年にあたり、心よりお祝いとお喜びを申し上げます。

昭和三十六年の本校誕生時、函館市立大川中学校田家分教場は、大川中学校から三学級、函館市立中央中学校（現凌雲中学校）からの四学級、他校を間借りした二年生ばかり、三百四名でのスタートだったと伺っております。

その年の暮れ、鉄筋コンクリート三階建ての現校舎が完成し、翌三十七年四月には「五稜中学校」としての本校の歴史が幕を開けました。

今も校舎に掲げられている校章はその年の三月に制定されたもので、五稜郭の五角形を象り、桜の花が五稜郭城址の桜と文化、蕾が若い力の協調を表しているという、地域の特徴を取り入れた、非常にモダンで若々しさを感ずるものであることから、当時の関係者、特に地域の皆様の本校への期待の大きさが伺われるところであります。

以来五十年、本校はその期待以上に充実した教育活動を積み重ね、八千七百三十八名にのぼる有為な人材を輩出してこられました。

早くから道徳教育の研究や学校放送の研究を進められてきたことを始め、昭和五十九年には生徒会を中心に「五稜三訓」を制定し、今につながる自主・自律の精神をもった生徒の活動が継続されてきました。近年は亀田川清掃などのボランティア活動や、市民創作函館野外劇への参加など、人間尊重の精神を育成し、地域と共に歩む教育活動を重視し、実践してこられました。

また、国際交流にも力を注ぎ、これまでアラスカやカナダ、ロシアの方々との交流を行ってきた他、昨年度は、第三十二回北海道国際理解教育研究大会会場として授業を公開されております。

さらに、部活動においても全道大会に連続出場中の吹奏楽部や庭球部、強豪として名高い野球部など、各部の活躍を伝え聞いております。

このような素晴らしい教育実践を積み重ねられてきた、歴代の校長先生をはじめとする教職員、保護者、地域の皆様には、改めて敬意を表する次第であります。

さて、平成二十四年度より全面实施される新学習指導要領においては、知識・技能の習得と思考力・判

断力の育成、健やかな体、豊かな心などの「生きる力」がますます重要とされております。

本校におきましては、これまで、史跡五稜郭を校区に抱くという豊かな環境を生かし、学業や運動に幾多の成果を挙げってきた伝統の下、「生きる力」を身に付け、自ら道を切り拓く、たくましい人材の育成に力を注いでいたと願っております。

結びになりますが、この意義ある五十年を契機に、函館市立五稜中学校の益々の発展をお祈りするとともに、関係各位のご健勝とご活躍をも祈念し、お祝いの言葉といたします。



五稜中学校と私

創立五十周年記念実行委員会 副会長
五稜中学校同窓会 会長

小松将人

今回、このような機会に同窓会会長として原稿を依頼され感謝するとともに、様々な想いを書き綴ることができればと思っています。

私の現在があるのは五稜中学校が原点であると思っています。中学校入学後、野球部に入り、万年一回戦ボーイのレッテルがある中、二年時には井原投手の活躍で躍進し、我々の代には少年野球大会には函館地区で優勝し、全道をかけて佐藤義則投手（現在楽天投手コーチ）を中心とした奥尻中学校に延長十二回二一で敗戦しましたが、思い切り頑張れたと思っています。様々な部活動が強く、中体連陸上の総合優勝を含め八本の優勝旗を持つてきたこととともに、生徒会活動も盛んで、市内の中学校と交流をし、議論を戦わしたことを覚えています。

当時の先生方は特色ある先生が多く、体育の阿部光房先生、岡本先生、美人の荻原先生、保健室の婦山先生、美術の安井先生、音楽の桜井先生、怖い数学の概算（藤原）先生、超発音の良い野村先生、卒業担任の本堂順悦先生、思いつくと本当に授業が毎時間楽しく、時間があつという間に過ぎて行きました。卒担の本堂先生には、「将来、先生になったら」と

言われたことがありました。

そんな楽しい中学時代を過ごした私は、大学卒業後、高校教員をして部活動では野球顧問をし、全道大会に生徒を連れていくこともできました。生徒会顧問をして楽しい学校祭を企画し生徒とともに盛り上がることもできました。クラス運営にしても、生徒がクラスで楽しく自分のポジションを持つことができるように努力をし、学年でも男女が仲の良いクラスになることが多々ありました。

函館で教員生活をしている時に、同窓会入会式で話す機会があつたのですが、その時には必ず「①夢を追いかけること、②自分の人生に未来投資すること、③夢はあきらめず実現すること」をテーマに話をしました。

Dreams come true =

夢は本当になる＝夢は実現する

この私の人生訓のすべての原点は五稜中学校時代の生活そのものです。いろいろな先生に影響を受け、現在も付き合っている親友との関係が今の私を常に成長させています。

この素晴らしい歴史と伝統を持つ校歌の歌詞の中にもある

「ひんがしに古城いできて
たたなわる五稜が丘は……」

函館の中心地にある史跡五稜郭公園に隣接する名門五稜中学校がこれからも時代を超え、優秀な人材を輩出して日本だけでなく、世界で活躍してくれることを期待します。

最後になりますが、五十周年を迎えた函館市立五稜中学校のますますのご発展と関係各位に深く感謝を申し上げます。



伝統を受け継いで

函館市立五稜中学校 生徒会長

石黒 ゆかり

今年、五稜中学校は創立五十周年を迎えました。このような節目の年に、生徒会長を務めることができ、責任を感じるとともに嬉しく思います。そして、これまで多くの先輩達が築き上げてきた伝統の上に現在の五稜中学校があるのだと思うと歴史の重さを感じます。

本校には「五稜三訓」という生徒会が中心となっていて、自分たちが心がけていくべき生活を示したものがありません。それは、校内のいたる所に掲げられています。五十周年にあたり、改めて「五稜三訓」を振り返り、自分たちの生活の中で意識するという取り組みを始めました。まず、二つ目は「にっこり挨拶明るい一日」を実践するために生徒会と各学級の生徒が玄関前であいさつをする「あいさつ運動」を行っています。授業のあいさつも見直すことでけじめのある生活を心がけています。取り組み始めた頃は声が小さかったあいさつも全員で取り組むことにより今では元気のよいあいさつができ、来校者の方にも同じようなあいさつができるようになりました。これらの取り組みから、朝から帰りまで気持ちのよいあいさつが校内にあふれています。二つ目は「自主的判斷みん

なで協力」の取り組みとして、今まで先生方にお任せしていた集会活動を今年から生徒会や委員会が中心となって進めています。各行事に合わせて担当の委員会が集会を運営していくことで多くの人たちの活躍する場が増えました。また、人の前に立つことを意識しながら発表等をする心を心がけています。最後に「すすんで清掃きれいな学校」については校内、校外の清掃を予定しています。

部活動では、今年の中体連総合大会でテニス部が男女ともに個人戦で全道大会に進出しました。吹奏楽部はコンクール地区大会で金賞を受賞しました。他の部も来年こそはと意気込んでいます。

年間の大きな行事として、体育大会ではクラス対抗で全員リレーや学年種目を行います。中でも大縄跳びではそれまでまとまりに欠けていたクラスが朝練習や作戦を立てる話し合いをして、一回でも多く跳べるようにと目標に向かって一丸となり頑張りました。その結果、クラスの絆が強まりました。文化祭では、芸術ホールで私の主張やクラス対抗合唱などを行います。合唱では体育大会で強まった絆をより一層強くすることができます。この文化祭では地域の

方々に学習の成果等を伝えることができる場でもあります。

最後にこれまで多くの先輩達が受け継いできたすばらしい伝統を絶やすことなく私達全校生徒が二つになつてより良い校風を創りあげていきます。そのために、生徒一人一人が相手を思いやる優しさを忘れず、「五稜三訓」を次代に引き継いでいくことを誓います。

An aerial photograph of a city, likely in Japan, showing a dense residential and commercial area. In the foreground, a large, multi-story school building is visible, along with a large, open field or sports ground. The sky is filled with dramatic, dark clouds, creating a moody atmosphere. The text is overlaid on the upper half of the image.

五稜中学校
50年のあゆみ



50年のあゆみ



39	3	12	10	4	38	3	12	4	37	4	3	12	9	8	7	6	5	4	昭	36	4	1	
	10	24	10	6		27	26	2		1	6	21	19	15	23	18	27	22	17	26	20	26	6

函館市立大川中学校田家分教場として発足

・学級編成 一学年 七学級(三〇四名)

・中央中学校より沼山吉之助氏が分教場主任として着任

・教諭 九名 ・書記 一名 ・養護婦 一名

・校舎 函館市立大川中学校に三学級

函館市立中央中学校(現・函館市立凌雲中学校)に四学級、外に職員室一教室を併置

第一回入学式

・生徒 函館市立千代田小学校、函館市立八幡小学校

函館市立柏野小学校の 卒業生三〇四名を収容

(男子 一六七名、 女子 一三七名)

父母と先生の会 発足

開校記念日(昭和三十七年度)

生徒会 発足

独立新校舎建設地鎮祭

大川中学校の三学級を中央中学校校舎に収容

校舎第一期工事着工

母の会 結成

第一回運動会 五稜郭公園で挙行

第一期工事検定(教室十五、放送室、保健室、北側便所)

新校舎への移転完了

新校舎移転式並びに第一回文化祭

校章制定

校名「函館市立五稜中学校」と決定

初代 沼山吉之助校長 就任

五稜中学校 開校式

体育館第一期工事検定

第二期工事検定

(教室四、職員室、校長室、事務室、宿直室、用務員室、相談室、教材室二、職員便所)

第三回入学式(全学年 そろう)

開校並びに校舎落成記念祝賀会開催

開校記念日とする(昭和四十年年度)

校歌、校旗制定

第三期工事検定(理科室、家庭科室、暗室、展示室、ミシン準備室、付属 廊下)

第一回卒業式 挙行(男子一六二名、女子一四八名、計 三一〇名)





51 . 9 . 10 50 . 8 . 11 49 . 7 . 8 48 . 12 . 1 47 . 5 . 28 46 . 10 . 1 44 . 7 . 3 43 . 4 . 16 42 . 10 . 8 41 . 7 . 1 40 . 12 . 1 39 . 9 . 8 38 . 4 . 1 37 . 12 . 28

- 同窓会結成
- 第四期工事検定（技術室，水洗便所）
- 第二代 藤川光夫校長 就任
- 女子生徒の標準服制定
- 第五期工事検定（美術室，音楽室，水洗便所）
- みどり学園中学部二学級，的場中学校から移管
- 函館市道徳教育指定校委嘱（昭和四十三年）
- プール完工
- 北海道道徳教育研究大会
- 開校記念日を地鎮祭の六月十七日と決定
- 第三代 三ツ谷毅一校長 就任
- 北海道道徳教育研究大会
- 函館市道徳教育研究指定校発表
- 体育館増築工事検定
- 学校放送教育研究校委嘱（昭和四十五年）
- 温室完成（母の会寄贈）
- テレビ教育開始
- 第八回道南放送教育研究大会
- 第四代 梶原四郎校長 就任
- 第二十二回放送教育研究大会北海道大会
- 体育館男子更衣室設置
- 創立十周年記念式典挙行
- P T A臨時総会（規約改正）
- 体育館女子更衣室設置
- 全道病弱・虚弱教育研究大会（みどり学園）
- 第五代 金沢浩校長 就任
- 函館・亀田市合併記念生徒交歓会
- 留萌港南中学校との交歓会
- 新机・椅子入荷
- 武蔵野音楽大学生による演奏会
- プール防犯灯・排水口完成
- グラウンド赤土入る
- みどり学園校舎落成
- 全道理科教育研究大会（本校会場）





50年のあゆみ



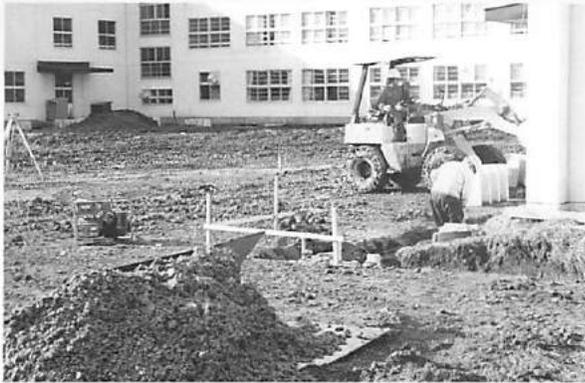
58 4 11 6 57 1 10 9 7 6 5 56 1 10 8 7 5 55 3 12 5 54 5 12 9 53 11 8 5 52 4 1 21 29 14 6 9 2 1 1 27 10 3 28 6 24 13 14 12 4 21 13 1 20 25 22 21 18 30 20 27 9

第六代 齋藤正之校長 就任
 機械警備に伴う校舎管理開始
 国際電話教室開催
 体育館背面のタキロン修理
 優勝旗・盃等陳列ケースPTAより寄贈
 LL教室完成
 体育館水銀灯・二間廊下照明設置
 グランド東側フェンス完成
 みどり学園 道立養護学校として発足
 階段踊り場の窓総サッシとなる
 凍結防止用赤外線装置取付
 第七代 村上健介校長 就任
 職員による下駄箱づくり開始
 ケーナ演奏会(アントニオ・パントーハ氏)
 新堀ギター演奏会
 全教室黒板塗装
 (PTA生徒会主催大運動会)
 校内チャイム取付
 シェル科学コンテスト全国一位
 市P連より優良PTA表彰受賞
 新堀ギター鑑賞会(PTA文化部)
 開校二十周年記念体育大会
 開校二十周年記念植樹祭
 PTA生活部生徒登校状況視察
 開校二十周年記念生徒会主催大運動会
 創立二十周年記念式典挙行
 創立二十周年記念誌特集号発行
 創立二十周年記念文化祭
 創立二十周年記念祝賀会挙行
 校内緊急用マイク取付
 LU教授生徒と懇談(国際交流)
 宿泊研修開始
 第三回全道中学英語暗唱大会(第二位に入賞)
 第八代 寺岡守男校長 就任





50年のあゆみ



27	20	16	10	28	22	9	31	13	7	12	16	6	4	1	9	8	7	30	6	5	18	17	4	11	29	29	12	5	10	4	28	9	7	5	30	3	4	27	11	15
----	----	----	----	----	----	---	----	----	---	----	----	---	---	---	---	---	---	----	---	---	----	----	---	----	----	----	----	---	----	---	----	---	---	---	----	---	---	----	----	----

グラウンド全面改修工事開始
 海外文通教室開催
 グラウンド全面改修工事完了
 開校三十周年記念体育大会（グラウンドで）
 函館市中体連野球大会で優勝
 開校三十周年記念演劇鑑賞
 台風一九号函館上陸のため臨時休業
 創立三十周年記念式典・文化祭（五日）
 五稜郭養護学校との交流
 創立三十周年記念祝賀会
 PTA父母会グラウンド防球ネット張り
 英語指導助手ティモシー、ホフマン氏来校
 第十二代 堀井 透校長 就任
 南玄関前整地
 吹奏楽部五稜郭祭パレード参加
 PTA植樹
 部活動後援会設立会
 函館市中体連卓球大会で男子団体優勝（十日）
 全道中体連卓球大会出場（恵庭市）
 学校週五日制について父母説明会
 第十三代 金山正智校長 就任
 PTAグラウンド南側フェンスネット張り
 カルガリー大学実習生来校
 （北海道南西沖地震）
 函館市中体連野球大会で優勝
 卓球大会個人戦上位入賞（一位、三位）
 全道中体連水泳、体操大会出場
 NHK合唱コンクール銅賞入賞
 南西沖地震被害慰問ピアノ演奏会（ロシアのナウム・シユタルクマン氏）
 ボランティア実践研究発表会
 英語指導助手マセソン氏来校
 第十四代 近野 功校長 就任
 PTA井戸端講演会
 吹奏楽部五稜郭養護学校との交流学习





9 . 3 . 3
 10 . 27
 9 . 22
 9 . 19
 8 . 4
 7 . 2
 7 . 15
 7 . 9
 4 . 9
 4 . 1
 2 . 16
 9 . 23
 31
 27
 8 . 4
 22
 7 . 7
 7 . 11
 12 . 23
 11 . 13
 10 . 19
 10 . 12
 22
 9 . 6
 8 . 3
 30
 7 . 12
 5 . 3
 3 . 26
 2 . 23
 1 . 14
 15
 13
 11 . 1

ジャージ等検討委員会
 二間廊下床下補修工事
 校舎正面ロータリー付近の整地
 リコーダーコンクール全道大会銀賞受賞
 コンピュータ七台増設
 校舎前水道管改修工事
 グラウンド転圧
 函館市中体連卓球大会男子団体優勝，個人戦上位独占
 全道中体連水泳大会で二〇〇M自由型，個人メドレー優勝
 全道中体連卓球大会個人戦に出場
 道南地区吹奏楽コンクール大会（C編成で金賞受賞）
 プール解体工事開始（二十五日整地終了）
 全国中体連水泳大会出場
 全道特別活動研究大会・授業公開
 函館市壁新聞コンクールでデザイン賞受賞
 HBC合唱コンクール優良賞受賞
 家庭科準備室水道管破裂事故
 函館市中体連卓球大会男子団体優勝，個人戦上位独占
 ボランティア 亀田川河川敷清掃
 全道中体連卓球大会個人戦出場（美唄市）
 NHK合唱コンクール銅賞受賞
 地域ノーマリー教室開催
 野球新人戦で優勝
 防球ネット新設改修工事中
 第十五代 札幌内征男校長 就任
 校門前フェンス取り付け工事開始
 函館市中体連卓球大会男子団体三位，個人戦優勝
 共同募金会から学校表彰受賞
 吹奏楽コンクールで金賞受賞
 全道中体連卓球大会個人戦出場
 全道技家教育研究大会公開授業・分科会場
 野球新人戦で準優勝
 中一男子，ジュニアオリンピック陸上競技大会の一〇〇M走に出場（国立競技場）
 牛乳パックリサイクル試行（七日）





50年のあゆみ



7 . 4 4 . 22 3 . 11 3 . 9 12 . 2 12 . 25 11 . 19 . 29 . 25 . 18 9 . 4 8 . 1 6 . 29 . 10 5 . 7 3 . 23 11 . 1 11 . 5 9 . 16 8 . 19 . 27 7 . 24 5 . 19 4 . 1 10 . 1 12 . 5 10 . 3 9 . 13 8 . 2 6 . 15 4 . 5

一階トイレブース改修工事開始（十三日）
 函館市中体連陸上競技大会、上磯陸上競技場で開催
 吹奏楽コンクールで金賞受賞
 一階渡り廊下トイレ改修工事（十二月）
 全道国語教育研究大会・公開授業
 合同演劇発表大会参加
 小さな親切運動実行章受章
 新設トイレセンサー修理工事（十六日）
 第十六代 鹿内 進校長 就任
 一〜三階トイレの水回り工事
 吹奏楽部、全道中体連陸上、柔道出場者の壮行式
 キュービクル設備工事開始
 全国中体連陸上出場者の壮行式
 全道社会科教育研究大会・授業公開
 廊下蛍光灯取付工事
 心の教室相談室工事（二月二十五日）
 体育館スピーカー取替工事
 職員トイレ排水管工事
 北玄関前水道管破裂工事
 校外清掃についてNHKテレビ放映
 吹奏楽コンクールで銀賞受賞
 生徒会、きれいな町づくり市民フォーラムで発表
 二階女子トイレ工事開始（二十三日）
 台風一八号により渡り廊下屋根のトタン被害
 体育館渡り廊下屋根葺き替え工事
 函館の街をきれいにする市民運動協議会より表彰
 チャイム故障による取付工事
 体育館二階廊下センサー取替工事
 青少年交流団ユジノサハリンスク市派遣事業作品展示
 用務員室ボイラー取り替え工事
 グランド防球ネット工事
 第十七代 佐野 武校長 就任
 グラウンドフェンス工事（二十三日）
 ふれあいの時間開始（七日）



バイセス年次会合記念公演





9 8
 12 4 24 4
 28 25 24 18
 10 2 23 10 25 7
 4 3 23 21 19 16 10 5 27 24 23 10 9 25 11 8 29 19
 13 1 11 10 10 11 10 17 18 25 11 1 29 19

- 中体連渡島支庁バドミントン大会個人戦出場
- 吹奏楽コンクールで銀賞受賞
- 家庭科室前壁亀裂修理工事
- 函館野外劇にボランティア参加
- 函館市中学生海外派遣事業開始
- ユジノサハリンスク市へ中学生海外派遣（三年女子一名）
- 文化祭ふれあいの時間開始（二十九日）
- 函館市青少年芸術奨励事業表彰式
- コンピュータ室工事及び新コンピュータ設置
- バイセス講演会でリチャード・ピーミッシュ氏来校
- 二階トイレ工事開始（十一月二十四日）
- レクマコリー、シドニー市へ中学生海外派遣（二年女子一名）
- ゴミポイ捨て防止標語入りポスター表彰式
- 教室入り口戸取替工事（一・A・C、二・B）
- 子ども歌舞伎鑑賞教室（芸術ホール）
- 技術室外水道管工事
- 八幡小学校訪問交流
- 体育館渡り廊下床修理工事開始
- ノーチャイム開始
- 開校四十周年記念第四一回校内体育大会
- 函館市中体連陸上競技大会（当番校）
- 道南ブロック吹奏楽祭
- ふれあいの時間開始（六日）
- 函館市中体連総合競技大会（十三日）
- （剣道女子個人戦、柔道男子個人戦、軟式野球優勝）
- 渡島支庁大会（剣道、柔道、軟式野球）
- 吹奏楽、剣道の壮行式
- 三階女子トイレ改修工事・二・三階壁補修工事開始
- 「総合的な学習の時間」で三年生野外劇に参加
- 吹奏楽コンクールで金賞受賞（C編成）
- 全道中体連剣道大会（五日 伊達市）
- ユジノサハリンスク市へ中学生海外派遣団引率（三十一日 校長）
- 地域住民と共同による校外清掃実施
- 「総合的な学習の時間」で一年生五稜郭周辺の調査活動（十四日）





50年のあゆみ



16
 1
 12
 6
 11
 19
 9
 10
 24
 10
 2
 9
 6
 28
 8
 10
 24
 7
 17
 6
 4
 5
 9
 15
 4
 26
 11
 1
 10
 3
 9
 2
 26
 6
 8
 2
 7
 25
 6
 5
 31
 4
 1
 21
 14
 2
 7
 27
 18
 10
 11
 10
 6

- カナダ・ハリファックス市へ中学生海外派遣（十四日 一年男子一名）
- 創立四十周年記念文化祭（一日目 芸術ホール）
- 創立四十周年記念式典・文化祭（二日目 体育館）
- 創立四十周年記念誌発行
- 中国・天津市へ中学生海外派遣（二十三日 三年女子一名）
- 女子トイレ手洗い場工事
- コンピュータ室照明工事
- 廊下コンセント分電盤工事
- 八幡小交流授業
- 第十八代校長 田村順子校長 就任
- 市制八十周年記念交流会参加（吹奏楽部出演）
- 第四十二回校内体育大会
- トイレ改修工事開始
- ハリファックス市へ二年生一名派遣
- 全道中体連柔道大会
- 被爆者体験講演会（松尾美代子氏）
- ユジノサハリンスク市へ三年生一名派遣
- 第四十二回文化祭（四日）
- 二階男女トイレ改修工事開始
- 三階女子トイレ壁補修・床張り替え工事
- 薬物乱用防止教室（一年生）
- 第四十三回校内体育大会
- 渡島支庁大会（柔道）
- 性に関する教育講演会（小葉松洋子先生）
- 日露交流ハバロフスク派遣（三年生四名・二年生一名）
- 第一回放課後学習チューター
- 千代田小祭り（吹奏楽部参加）
- 第四十三回文化祭（三日）
- ウラジオストク市へ派遣（二年生一名）
- 全道国語研究大会授業公開
- 防火扉修繕工事
- レイクマコーリー市へ派遣団引率（校長・三年生一名）
- 市民スポーツフェス綱引き大会出場
- コンピュータ室前水飲み場改修工事





19
 4
 24
 12
 9
 24
 11
 13
 24
 10
 3
 28
 7
 13
 6
 3
 5
 23
 11
 1
 19
 10
 5
 12
 9
 12
 8
 4
 15
 13
 9
 7
 1
 6
 2
 17
 4
 1
 9
 29
 8
 26
 7
 23
 7
 15
 28
 22
 6
 3
 5
 18
 3
 6
 25

田家町会節分祭（ボランティア部参加）
 体育館電球取替工事
 校外学習・函館山（一・二年生）
 第四十四回校内体育大会
 台風六号による臨時休校
 ふれ合いタイム開始
 渡島支庁大会（柔道）
 コンピュータ移設工事
 水道管工事
 薬物乱用防止講演会（水谷修氏）
 第四十四回文化祭（三十日）
 第十九代校長 畑野克行校長 就任
 第四十五回校内体育大会
 ウラジオストク市へ三年生一名
 亀田川ボランティア清掃
 グラウンドフェンス工事
 三年野外劇参加
 平和大使出発
 ユジノサハリンスク市へ三年生一名派遣
 第四十五回文化祭（六日）
 天津市へ二年生一名派遣
 屋外時計贈呈式
 子どもを守るパトロール
 第四十六回校内体育大会
 渡島支庁大会（テニス）
 乗船体験（函館大間）
 体育屋根工事
 第四十六回文化祭（六日）
 赤ちゃんだっこ体験（保健センター）
 車椅子寄贈（小さな親切運動から）
 レイクマコーリー市へ派遣・三年生一名
 市民スポーツフェス綱引き大会（女子の部優勝）
 シンガポール訪問団来校
 全国学力学習状況調査





50年のあゆみ



22	21	20
4	11	11
4	10	4
20	8	19
1	16	1
	5	19
	16	19
	9	10
	5	22
	1	27
	27	26
	7	7
	29	25
	29	1
	21	
	4	
	18	
	3	
	5	
	11	
	24	
	9	
	6	
	8	
	1	
	26	
	7	
	18	
	6	
	5	
	30	
	27	
	24	
	18	
	15	
	4	
	22	
	1	
	19	
	19	
	10	
	22	
	27	
	26	
	25	
	1	

- 第四十七回校内体育大会
- 全道中体連大会（陸上）
- 吹奏楽コンクールで金賞受賞
- 全道中体連大会（水泳）
- ボランティア委員会盲学校若草祭り参加
- 第四十七回文化祭（十一月一日）
- 全道社会科研究大会授業公開（二A）
- ノーマリー教室（大妻高校）
- 第二十代校長 坂上範夫校長 就任
- 全国学力学習状況調査
- ムクゲ植樹（森づくりロータリークラブ）
- 吹奏楽部五稜郭祭パレード参加
- 校舎修繕
- ボランティア委員会盲学校訪問
- 第四十八回校内体育大会
- 「函館の街をきれいにする市民運動協議会」活動功勞表彰
- 保護司会との交流会二年生
- 吹奏楽コンクールで金賞受賞（全道へ）
- 全道中体連大会（水泳・ソフトテニス）三日
- 北海道吹奏楽コンクールで銀賞受賞
- 第四十八回文化祭（芸術ホール）
- レイクマコーリー市へ派遣
- 教研式学力検査CRT一年
- 全国学力学習状況調査
- 第四十九回校内体育大会
- 福祉の講演会
- 全道中体連大会（陸上）三十一日
- 全道中体連大会（ソフトテニス・卓球・水泳）二日
- 北海道吹奏楽コンクールで金賞受賞
- 携帯電話マナー教室
- 第四十九回文化祭
- 出前講座「福祉の街づくり条例の概要」
- 第二十一代校長 青木完二校長 就任
- 全国学力学習状況調査





10	8	8	7	7	7	7	7	7	6	5	23	11	10	9	7	6
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
20	27	1	30	29	27	17	14	30	1	22	14	5	4	4	30	24

- 第五十回校内体育大会
- 体育館耐震・暖房設置工事開始
- 全道中体連大会（ソフトテニス・水泳1日）
- 北海道吹奏楽コンクールで銀賞受賞
- 演劇鑑賞教室劇団民話芸術座「鬼の小槌」
- 第五十回文化祭
- 体育館暖房開始
- 全道国際理解研究大会授業会場
- （東日本大震災）
- 亀田川ボランティア清掃
- 吹奏楽部五稜郭祭パレード参加
- 学生教育支援ボランティア着任
- 開校五十周年記念第五十一回校内体育大会
- いじめ撲滅集会
- 自転車鍵贈呈式（西警察署）
- 渡島支庁大会（テニス15日・剣道）
- 不審者から子どもを守るパトロール
- 耐震改修工事開始
- 吹奏楽コンクールで金賞受賞（B編成）
- 全道中体連大会（水泳1日）
- 全道中体連大会（ソフトテニス3日）
- 創立五十周年記念PTAバザー
- 創立五十周年記念文化祭（芸術ホール）
- 創立五十周年記念式典（芸術ホール）・祝賀会
- 創立五十周年記念誌発行



開校から30年までの職員



昭和三十六年度開校当時の旧職員



昭和四十六年度開校十周年の旧職員



昭和五十六年度開校二十周年の旧職員



平成三年度開校三十周年の旧職員

40年から現在までの職員



平成十三年度開校四十周年の旧職員

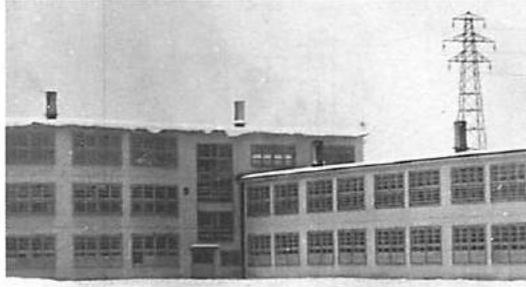


平成二十三年度現職員



思い出のアルバム





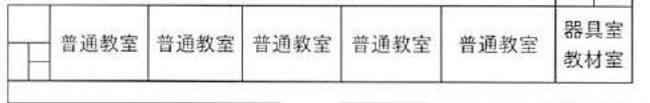
校舎の
変遷

創立当時の校舎

3階

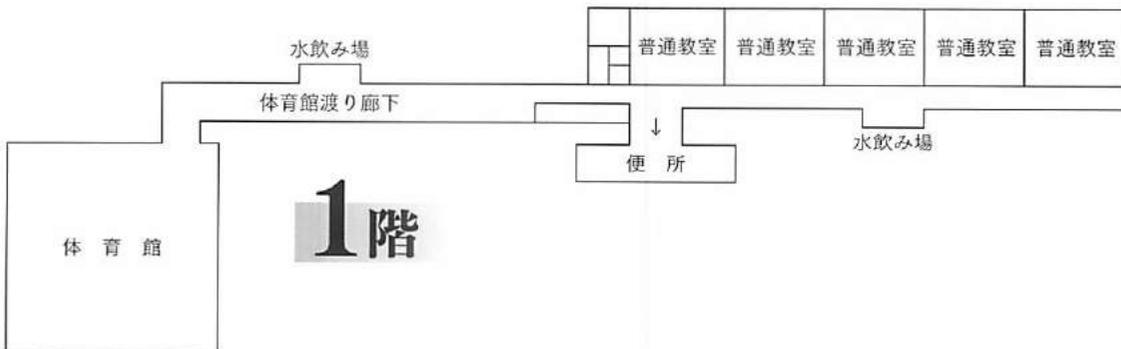


2階



水飲み場

1階

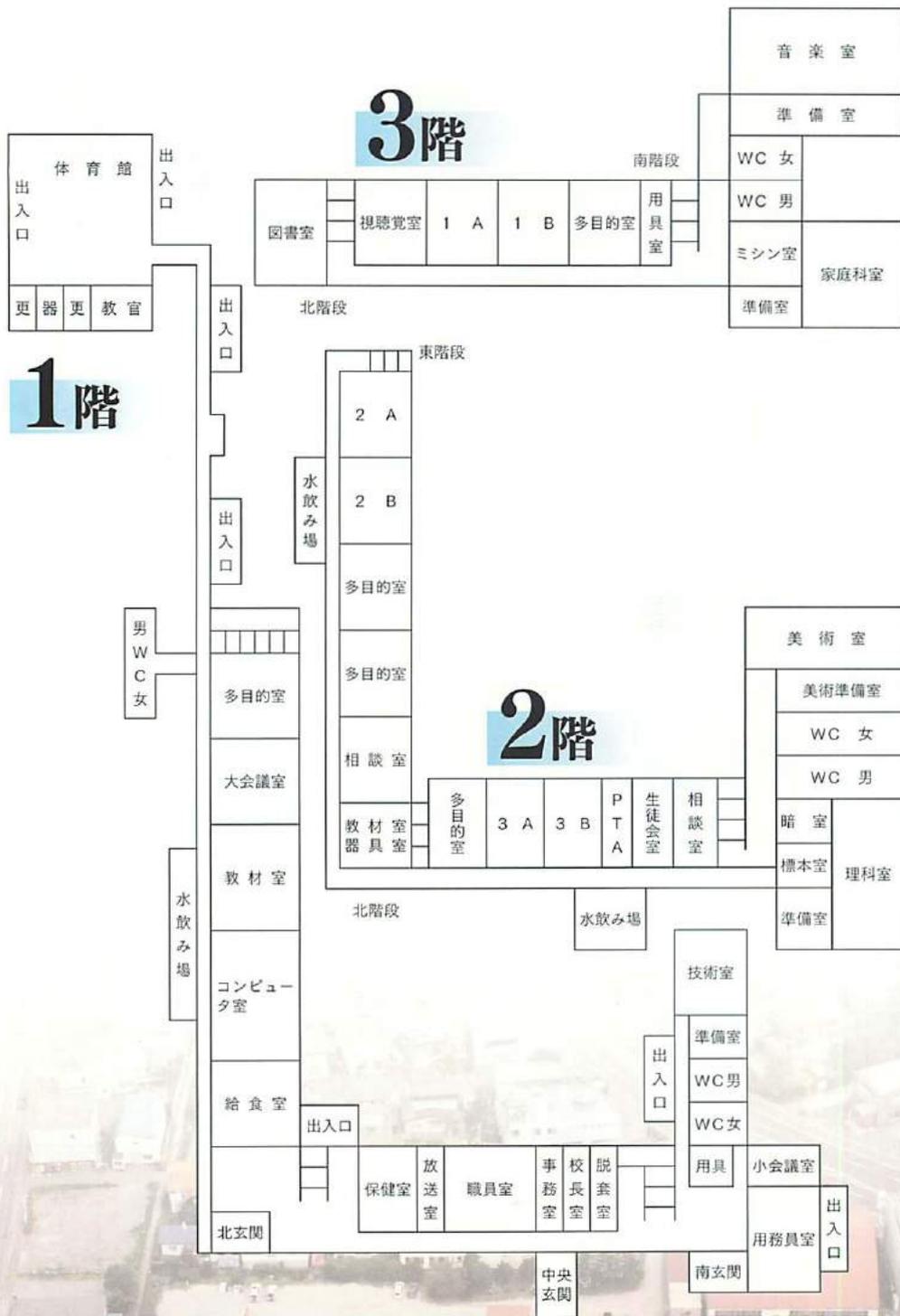


体育館



校舎の
変遷の

現在の校舎



入学式・校外学習



昭和36年 函館空港遠足



昭和51年 遠足



昭和52年度 入学式



昭和59年 遠足



昭和60年度 入学式



平成5年 新入生歓迎会



平成14年度 入学式



平成23年度 入学式

修学旅行・宿泊研修



昭和43年 修学旅行



昭和45年 修学旅行



昭和53年 修学旅行



昭和61年 宿泊研修



平成3年 修学旅行



平成9年 江差宿泊研修



平成17年 修学旅行



平成21年 宿泊研修

体育大会・球技大会



昭和36年 五稜郭公園にて



昭和37年 運動会



昭和42年 校内陸上大会



昭和60年 校内大運動会



平成7年 校内球技大会



平成9年 校内体育大会



平成15年 校内体育大会



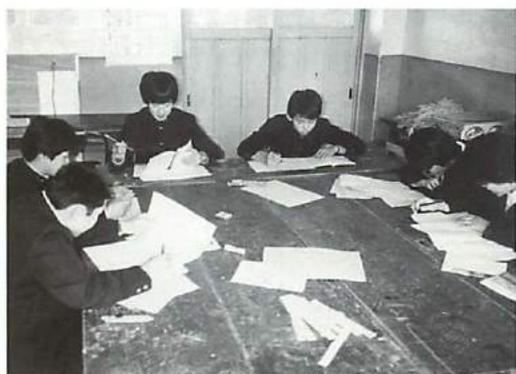
平成19年 校内体育大会



昭和38年 体操部



昭和54年 水泳部



昭和58年度 生徒会役員



昭和61年 中体連野球大会



昭和63年 応援団



平成7年 壁新聞コンクール



平成10年 吹奏楽部



平成23年 応援団

思い出のアルバム

文化祭



昭和37年 音楽発表会



昭和39年 文化祭



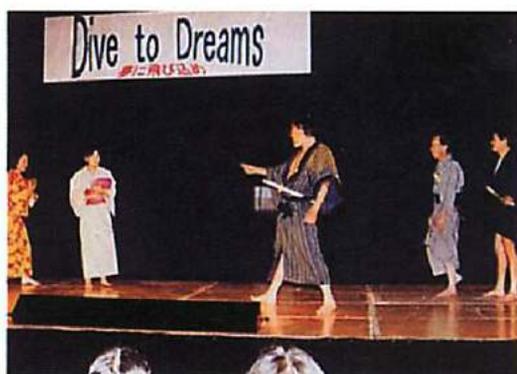
昭和47年 文化祭



昭和60年 文化祭



平成6年 文化祭



平成11年 文化祭



平成14年 文化祭



平成17年 文化祭

授業風景・卒業式



昭和36年 授業風景



昭和40年 授業風景



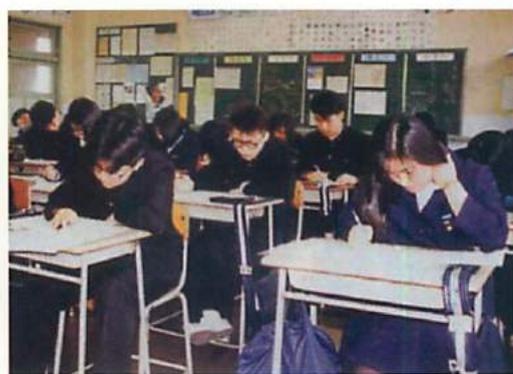
昭和48年度 卒業式



昭和56年度 卒業式後



平成2年 卒業式



平成7年 授業風景



平成16年 野外劇参加



平成22年 新入生体験入学

思い出を語る



北海道南西沖地震に襲われたのは、
中体連八種競技の始まる前日、平成
五年七月十二日でした。その夜、テレ
ビで奥尻の火災の炎を見、津波のすさ
まじさを伝えるアナウンサーの声を聞
いて、この重大さに唖然としたこと
を記憶しております。
この地震、津波で大きな犠牲を蒙っ
た島民を力づけるため、ロシアの名ピ

震災に思う



函館市立五稜中学校
第13代校長

金山正智

五稜中学校の創立五十周年をお祝
い申し上げます。

輝かしい五稜の歴史を繋いでこら
れた歴代の先生方、地域の皆さんのご
努力、お力添えに心から敬意を表しま
す。同時に、私もその一員として皆さん
と共にあったことをありがたくかつ誇
らしく思っております。とは申せ、私が
五稜中にお世話になったのは、平成五
年の六ヶ月間だけで、「共にあった」と
書くことになら肩身の狭い思いが
しております。

アニスト、シユタルクマンさんがヨーロッ
パから来日し、演奏会を行うことにな
りましたが、奥尻では会場が準備でき
ないということ、急遽、函館の五稜
中体育館を会場とすることになりま
した。しかし、困ったことに学校には
世界的なピアノが演奏するにふさ
わしいピアノがありません。こうした
ことが耳に入ったのでしようか。地域
に永くお住まいの石川康二さんから
グランドピアノを寄贈したいというあ
りがたいお話があつて、父母や地域の
方々にも参加していただく演奏会が
実現しました。
シユタルクマンさんは、慈顔にあふれ
る思いを込めて「希望を持ち続けてく
ださい。それが悲劇を乗り越える力を
生み出します」と語られた後、すぐに
演奏に入りました。「剣の舞」など数
曲でしたが、足で床を打ち鳴らしなが
らの激しい演奏で、その思いの強さ、深
さに圧倒されました。芸術は人の心を
奮い立たせる、感動の中でそう実感し
ました。
今、東日本大地震に襲われた東北
の被災地の悲惨な状況を見ながら、
祈る思いでシユタルクマンさんの言葉
を思い出しております。

五稜中学校での 出合いは今も



函館市立五稜中学校
第14代校長

近野 功

半世紀にわたる道程を脈々と歩み
続けた五稜中学校に、心からお祝いを
申し上げます。

十八年前、年度途中に着任した私
にとりまして印象的な出合いがあ
りました。

幾多の実践を通して構築された、
人間尊重の教育は、当時も教職員の
指導の中に生かされておりました。そ
の先には感性豊かで、打てば響く生徒
たちの存在がありました。

P T Aの役員の方々には、すべての
子どもの目線で活動をしようとする
温かい心遣いが感じられて、好感が持
てました。

ある時期、家庭にも、学校にも居場
所をつくれぬ生徒が何人かおありま
した。生徒指導に重点を置く先生方
の努力が続きました。

二学期を迎えたある日、校長室に

P T A会長をはじめ役員が、「私達に
も学校のお手伝いをさせてもらえない
ですか?」と、謙虚な物腰で相談にやっ
て来たのです。

詳しく話を聞くと、小学校当時か
らお互いに知っている当該生徒の親と
一緒に、子育てをしたいという熱い思い
が伝わってきました。

先生方には、もっと本来の教育活動
に専念して頂きたい、とも言うのです。
保護者が、常時学校に入ることへの
賛否はありましたが、今は亡き山岸
教頭の適切な配慮のもとに、P T A会
議室を相談室にした、「親子相談?」
を始めることにしました。

ゆつくりと信頼の糸を紡ぎながら、
親子相談は卒業式まで続けられまし
た。生徒指導との両輪の中で、それぞ
れに居場所を見つけ、校内外で落ち着
いた眼差と言動が顕著になりました。
子どもを育てることが、親だけでは限
界があるといわれる現代社会の隙間
を見事に埋めてくれたと思っております。

素直に感謝の言葉を残して卒業し
て行った生徒達も、今は三十路を越え
ました。現在も大人の付き合いを続け
る当時の役員の姿に、人間教育の原
点を見る思いがしてなりません。



函館市立五稜中学校
第15代校長

札内 征男

五稜中の発展を祝して

五稜中学校創立五十周年、誠に御めでとございます。私は、平成八年度から九年度まで在職しましたが、その間、とても楽しく過ごさせていただきました。それは、なんとと言っても、生徒の皆さんとの出会いに恵まれたからです。それに、教職員の方々やPTAの皆様に大変お世話になりました。今、改めて、心より感謝申し上げます。

校門の前を通ったり、生徒の姿を垣間見た時はいつも、「校歌」や「三訓」のことなどを懐かしく思い出しております。ノーマリー教室やボランティア清掃、野外劇への賛助等の体験活動、そして、各種校内行事、研究会などを通じて、「明るく、品がある」生徒の姿が思い浮かびます。

北海道教育の基本理念に、「自立」と「共生」が掲げられております。地域の方々から学んだり、身近な資源を活用したり、思いを行動にして奉仕する

ことによつて、地域を誇りに思い、ともに生きるといった豊かな心や社会性が育まれていくものと思っております。五稜中の実践には、「社会的・職業的自立を目指して、共生していく」という精神が色濃く感じられます。

記憶や関係が遠のく中で、嬉しい再会もあります。函館市P連OB会では、元五稜中PTA役員の方々にお会いする機会があります。また、互助会や同窓会等の集まりでは、旧教職員の方々とお会いする機会もあります。そんな折、五稜中で過ごせたことの幸せを感じております。

中国の論語に「五十にして天命を知る」とあります。「ひんがしに古城いできて…」と校歌に歌われる五稜中学校が、半世紀の輝かしい歴史を刻みました。創立五十周年を契機に、その伝統を生かして、益々発展することを祈念申し上げます。

生徒の雄飛



函館市立五稜中学校
第16代校長

鹿内 進

昭和三十六年四月、大川中学校田家分教場として開校した五稜中学校が五十周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

校長として平成十年四月から平成十二年三月まで最終校としてお世話になりました。この間、素直でやさしい生徒、意欲溢れる教職員、協力を惜しまないPTA・地域の方々を支えられた学校でありました。このすばらしい学校での二年間、記憶に残る生徒の活動を記します。

その一つは中体連の野球大会であります。当時の野球部員は文武にすぐれ、練習熱心な生徒の集まりでありました。大会前では本校が優勝候補の筆頭。大会が始まると順調に勝ち上がり、準決勝のことです。全校生徒が根崎球場に集合、選手と一体となつての応援。試合の流れは同点ですすみ、延長戦に突入してのチャンス、スクイズでさ

よなら勝ちの場面…、残念。破れたとはいえ最後まであきらめない選手の勇姿に感激したことが強く記憶に残っています。

次に、校区内を流れる亀田川をきれいにする活動であります。生徒会のボランティア部が中心となつて全校生徒に呼びかけた自主参加の活動であります。早朝にもかかわらず全校生徒が参加して亀田川の河川敷のごみ拾いを懸命に取り組む生徒の姿。これこそが五稜三訓の実践であり、関係機関からその成果が認められ感謝状の受賞でありました。

最後に新設された「芸術ホール」で文化祭の合唱発表会であります。まだ木の香りが残るホールで学校利用第一号としての発表。昨年までの体育館発表に比して、音響効果のすばらしいホールでは発表する生徒にとつても聴く保護者にとつても大きな感動を得たことが思い出されます。

このような生徒活動の積み重ねが新たな五稜中学校の伝統を築く基になります。本校のさらなる発展を祈念いたします。



函館市立五稜中学校
第17代校長

佐野 武

さらなる飛躍・発展を

五稜中学校が昭和三十六年四月
田家分教場として田家・白鳥の地に開
校し、開校時の精神を胸に、今日まで
五稜中の伝統を築き上げて五十年。今
一つの大きな節目を迎えられたことを
心からお慶び申し上げます。

今回の寄稿にあたり、四十周年当時
の思い出の一端を述べ、責めを果たした
いと思う。

私は平成十二年度・十三年度と二
年間の勤務で、教職生活最後の勤務校
でした。

振り返ってみれば平成十三年度は
丁度開校四十周年にあたり、中体連の
大行事である陸上競技大会の当番校
でもあり、多忙で大変と思いましたが、
次回五十周年の礎となる記念誌の編
集と記念式典を実施することに決定。
記念式典は、第四十二回文化祭の日
程（十月十・十一日）の中で実施するこ
とにした。

一日目は、校区内にある市民芸術ホ
ルを会場として、私の主張、合唱コンク
ー、吹奏楽部の演奏、実行委員企画の
発表等を実施。

二日目は、五稜中を会場に午前の部
で記念式典（第一部―五稜中四十年の
歩み 第二部―記念式典 第三部―
各学年による総合的学習活動の発表）
を挙行した。「闘志を燃やせ」をテーマ
に、全校生徒が教職員と一丸となって
取組み、創りあげた記念式典・文化祭
は五稜中生徒の力を存分に発揮した
内容だった。

全日程が終了したその夜、先輩校長
の温かいお心遣いで、盃を交わしなが
ら五稜中の思い出話に花を咲かせた
ことは今も私の心に忘れることなく
熱く残っている。

光陰矢の如し、あれから早十年を経
過、当時の様子が懐かしく思い出され
ます。

未曾有の被害を与え、世界を震撼
させた東日本大震災と福島第一原発
事故。苦しむ被害者をはじめ日本国民
に感動と勇気とそして希望を与えて
くれた「なでしこジャパン」のサッカー
W杯での優勝があった今年、開校五十
周年を迎えた五稜中学校がこれまで
諸先輩が築いてこられた伝統を糧に、
さらなる飛躍・発展することを祈って
おります。



函館市立五稜中学校
第18代校長

田村 順子

創立五十周年に寄せて

五稜中学校創立五十周年、おめで
とうございます。思い出しますと五稜
中学校がまだ無かった頃、田家町へ転
居したため小学校への通学で五稜郭
公園電停まで毎日歩きました。当時
は亀田川まで一面畑地が広がり、長葱
や玉葱・ジャガイモなどの作物が栽培
されていました。葱坊主や野菜の花な
どを眺めながらその成長を楽しみに
あぜ道を通ったことを思い出します。
月日が経過し、不思議にも教師として
八年間お世話になり、さらに平成十
四年から三年間校長として仕事をさ
せていただきました。振り返ると五稜
中学校との縁をあらためて感じます。

校長在職中はPTAの方々と地域
の皆さまに大変お世話になりました。
PTA・地域の年間行事はもとより日
頃の生徒指導に関する情報の提供や、
登下校時の生徒の見守りや声掛け、
災害時の対応など。当時学校に関わ

る報道、とりわけ命を脅かすいくつか
の事件が起こりましたが、学校の危機
管理体制見直しへのご助言・実働など
多くのお力をいただき本当に感謝し
ております。

教職員の力量が十分発揮されたこ
とも確かです。“日々授業公開”を指
針とし、部活動終了後研鑽に邁進す
る姿が思い出されます。白熱した論議
になることもしばしば有りました。頼
もしい限りです。全校生徒各人にファ
イルを持たせ、人としての成長指針や
学力向上への取り組みなどを年度初
めに作成し、学期毎に自己評価をし、
意識の高揚と共に一年間の成長を自
覚してもらうことに努めました。また、
生徒から教師への評価も実施し、互い
の力量を高め合い指導改善に努めよ
うとする教師の強い姿勢が伺えました。
これらの内容を各種たよりを介して
伝え、私も“校長だより”を三年間綴
りました。今は懐かしい思い出です。
良き生徒に恵まれ、教職員並びに高
橋登・青木昌史両教頭（現在校長）に
は大変お世話になりました。ありがと
うございました。



函館市立五稜中学校
第19代校長

畑野 克行

創立五十周年を祝して

五稜中学校が創立五十周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

私は、在任した三年間「校長通信」を出し続けました。その最後の通信は、平成二十年三月、卒業式の際の生徒会長高橋靖貴君の「答辞」です。彼の答辞は名文で、人の心を捉えて離さない優しさで力強さをもっています。

その中で彼は友達に対して「僕自身、将来が不安で明日が来るのが怖いと思っただこともありました。でも、決して僕は一人ではありませんでした。手を伸ばせば必ずその手を握り、下を向けば道に迷わぬよう手を引いてくれる友達がいまいました」と語りかけました。

そして、家族に対しては「どんな時でも決して放り出さず、大切に大切に慈しんでくれたこと、本当に感謝しています。そして、僕たちはみなさんに背中を押され、幸せを掴むためにゆっ

くりとですが、前へ踏み出します。」

先日、高橋君、通称「ヤッチ」に会いました。今は、大学二年生。将来を見据え、これからこんな勉強をしながら、社会のために努力したいと力強く抱負を語っていました。そして、何より、私の心を捉えたのは、「家を離れ、本当に親の気持ちがわかるようになった」と、感謝の気持ちを漲らせていたことです。

「教養とはね、人の心が分かる心を持つこと。教養豊かな人間になりなさい」と、事あるごとに、私は言い続けてきました。あの素直でいい子だったヤッチは、男らしく、たくましく、教養豊かな若者に成長しつつあります。

「教育は未来を創造する営みです。」日本の子どもたち、世界中の子どもたちが、どんな困難をも打ち砕き、高く舞い上がることができることを強く願うと同時に、私自身、五稜中学校の教育の流れの一端を担うことができたことを誇りに思っています。



函館市立五稜中学校
第20代校長

坂上 範夫

開校五十周年に寄せて

函館市立五稜中学校の開校五十周年を、心よりお祝い申し上げます。

五稜中学校は私にとつて、三十余年の教職生活を締めくくる最後の二年間お世話になった職場でもあり、また深堀中学校在職中は五稜中が最大のライバル校(卓球)でありましたので感慨深いものがあります。

平成二十年四月、三浦佐和子教頭と共に着任。「校舎は古いが中身で勝負」をいつも念頭においておりました。二年の間には厳しいこともありましたが、良い思い出の方が多くありました。校舎は古いだけではなく傷みもあり、教頭を中心に職員と打ち合わせをしながら用務員さんで修繕できるもの、市教委にお願いするところ、知恵の予算が活用できるところ等々計画を立てて改善をしていきました。市教委の施設課の方々には、一学期中毎週のように来校していただき多くの箇

所をなおしていただいたことに感謝いたしました。

生徒たちは、学習に部活動に頑張っておりました。亀田川清掃・植樹・盲学校との交流等々のボランティア活動に対する意識は高く、野外劇にも多くの生徒が参加しておりました。部活動では野球部が二年連続準優勝でしたが、父母・地域の方々一体となつての応援は強く印象に残っております。また、吹奏楽部は吹奏楽コンクール地区金賞で全道大会出場を三年続けています。私事になりますが、思いがけず平成二十年度函館市海外派遣事業(オーストラリア・レイク・マコーリー市)の团长として、参加できたことも大きな出来事でした。

当時の渡島教育局長様とお話をする機会がありました。局長様は、「八幡小から五稜中というと名門コースですからね」とお話がありました。教育界ではそう評価されているのだと改めて感じたこともありました。優れた教育活動を推進し揺るぎない伝統を築き上げてきた五稜の教育の今後益々の発展を心から願っております。

新たな門出



函館市立五稜中学校
元PTA会長

廣部七郎

五稜中学校創立五十周年を迎えられたことに、心からお祝い申し上げます。

私は二十年前PTA会長を務めさせていただきました、廣部でございます。

二十年前も創立三十周年という年でした。短い準備期間にもかかわらず、記念行事を推進するために、校長先生をはじめ諸先生方、生徒の皆さん、PTAの皆さんが一丸となって協力した記憶が、鮮明に残っております。

本年は、五十周年という節目の年です。輝かしい伝統と良き校風を継承しつつ、新たな伝統を築く絶好のチャンスではないかと思えます。また将来百周年記念の日を迎えるための、新たな門出となる記念すべき年であります。この新しい出発にあたって、本校関係者の皆様が、より一層、ご尽力頂けますようお願い申し上げます。

ひと口に創立五十周年と申しましても、この間、教職員の方々やPTA先輩の皆様が漕がれた船は、穏やかな日ばかりではなかったでしょう。悪天候、悪条件にも負けず、耐えに耐え、乗り越えてこられたことが、今日の結果につながったことと思えます。

歴史と伝統ある本校には、現在も熱心にご指導してくださる先生方が多数おられ、学業や校内活動が活発であるだけでなく、世間を騒がせているような、いじめや校内暴力、非行などの社会問題もありません。在籍している生徒の皆さんは、これらのことを理解し、今後も学業だけでなく、校内活動もより一層専念して欲しいと願います。また、母校の名に恥じないよう日々精進し、伝統を守り、創立時の精神を忘れることなく、邁進して欲しいと思えます。

五稜中学校の今後ますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

創立五十周年のお祝い



函館市立五稜中学校
前PTA会長

益井基

これまで函館市立五稜中学校に関わりのあつたすべての皆様、この度は誠にありがとうございます。

創立五十周年のよき日を迎えられました事を、心よりお祝い申し上げます。

我が家の二人の娘たちも通算で五年間の間、お世話になり、また私自身もPTA会長をお手伝いさせていただき、想い出多き五稜中学校生活となりました。

会長として学校に入れることで、家とは違う娘たちの姿を見る事ができ、また、多くの在校生や教職員の皆様とも知り合うことができました。

今振り返りますと、五十年の歴史の割でも垣間見てきたのだなど、非常に感慨深いものがあります。

春に入学した小学生臭さが抜けない小さな子供達も、体育祭・文化祭・宿泊研修など、学校行事を二つ二つ経験

することに逞しさが増し、顔つきが変わってくるのを間近に見て、本当にうれしく思ったものです。

そして三年間で大きく成長した子供たちを送り出す時の喜びと寂しさ、卒業証書を手渡される姿を見て、自然と眼がしらが熱くなりました。

たくさんの笑顔、大きな笑い声、そして悲しみも苦しさも含めた様々な感情と共に、本当に多くの優秀な子どもたちが、我が五稜中学校からひとつ上のステージへと、巣立って行きました。

こんな素敵な「出会い」と「成長」と「別れ」の繰り返しですが、延々と五十年間継続しているんですね。

この五十年の歴史の中で、少しずつ積み重なり、受け継がれて築かれた、素晴らしき五稜の伝統の陰には、子供たちの教育にご尽力いただいた歴代の教職員の皆様、そして子供たちに愛を捧げた保護者の皆様の、並々ならぬご苦労があつた事と推察されます。

これまでの先達のご功績を踏まえて、今後も何十年にわたり伝統を継承し、同窓生と言う絆がさらに続く事を祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



函館市立五稜中学校
旧職員

斉藤 正宏

むかし語り

星屑の軌跡・三ッ谷毅一著、があります。中体連陸上では、総合優勝の奮闘に校長として胸が熱くなった。ピデオでの授業分析等、教育実践研究でも新生面を開いていった。と、昭和四十二年のページを飾り、そして後に、「誇りたい時代」と回想されているのです。

大川中学校田家分教場として開校の年の入学式。一天にわかにかき曇り、突如とどろく雷鳴。烈風豪雨至る。前途多難の凶兆か。続く運動会。「大空晴れて…」歌い出したらドシャ降り。と笑わせた平沼靖雄先生。

研究指定校にも努めたが、研修旅行、忘年会での文字にできない珍芸、奇芸を思い出しニヤニヤ。と述懐された野々村正晴先生。

はたちまち知れ渡った。との神話は昭和四十年のころ。「当番校は優勝できない」とのジレンクスを退けた陸上部の快拳は、満天に輝く星の下、野営した競技場でのカクテルの味とともに記憶に残っています。

昭和三十九年、阿部先生の「下宿はあるのか」にほぐれ、「運動をやらぬ男はイライナイ」で固まった私。「ヤセだから卓球部に」と野々村先生の保護を受け産湯をつかえたのです。

阿部先生の「やったなあ」の感慨に、「やらされた快感は、宿直室に並ぶ天ぶらかまぼこ、かんかい、札幌ジャイアントとセットだった」と二年先輩の安井孝先生も笑います。

平成四年、十九年ぶりの今浦島が、コーヒーを頂くたびに感じた香り。そして、会費を手にとあるビルのサロンへ急いだアフター六は、ぶつかりそうに進んで来る電車を見下ろし、ポランティア、中体連への分析と舌好調。それは草創期の残り香にも思えたのです。

「断捨離」との昨今ではあるものの、絶対には忍び難いむかし語りです。



函館市立五稜中学校
旧職員

中谷 満

九年間の勤務を振り返って

五稜中学校が開校五十周年を迎えられたことに対し、心からお祝い申し上げます。私は、平成元年四月から七年間、平成十七年四月から二年間の二度お世話になりました。

最初の勤務では、三十代から四十年代前半という年齢ということもあり、生徒や同僚、管理職にも恵まれ、充実した仕事をさせてもらえたと思っております。学校の施設面では、大規模改修があり、窓枠がすべてサッシ化され、それ以降、暖かい校舎で冬を快適に過ごせたこと。グラウンドの暗渠工事が行われ、グラウンドを使用した授業や部活動の回数が増えたことなど、生徒の学習環境が格段と良くなりました。生徒の体育着の変更や夏服にも係りました。保護者、生徒全員にアンケートをとり、その結果、制服はそのまま、ジャージについては、いくつか見本を示し、生徒の投票結果を十分

に尊重し、今生徒が使用しているジャージに決定しました。ある日、ピアノの寄付の申し出がありました。それが、今音楽室にあるグラウンドピアノです。音楽科の教師が非常に喜んだことが印象に残っています。二度目の勤務は、教頭としてです。校長は、畑野元校長です。五稜中では、校舎の施設・設備の改修に追われました。正面玄関前のロータリーのアスファルト化、体育館の屋根の葺き替え(半分)、水道管取り替え工事などであつという間に過ぎました。しかし、PTAの役員・専門委員の方の学校への献身的な協力は忘れられません。各種専門委員会の活動、文化祭でのバザーなど頭の下がる思いでした。PTA会長は、私と同じ名前の中谷さん。入学式・卒業式での祝辞の内容のすばらしさは印象的でした。語りかけるような口調で、子どもたちへの愛情がにじみ出ていました。思い出は尽きません。伝統ある五稜中学校に二度も勤務できたことに感謝しつつ、さらなる発展を祈ります。

思い出すの記



函館市立五稜中学校
旧職員

伊勢 健

校門の傍らの桜の木を見るたびに、花満開に咲き誇る姿。新川の土手を通るたびに、地域清掃に汗した生徒の姿。道路縁からグラウンドを通して校舎を見るたびに、授業する自分の姿。現在と過去が入り混じり、不思議な郷愁が襲います。

私の五稜中勤務は、一九九六年四月から二〇〇二年三月の退職までの六年間でした。

まず、前任校に引き続き十年間連続の修学旅行。これが苦痛でした。何故なら、旅行後には決まって喘息の発作に襲われ、夜眠れなくなりました。花粉の時期に重なるのか、環境の変化に対応できない体質なのか、修学旅行と聞いただけで気分は鬱です。さすがに最後の年は辞退しました。

また、最大の思い出は二〇〇〇年十一月八日の朝です。出勤のため車で家を出、交差点で通り過ぎる車を待つて

いました。それから先の記憶がありません。目が開いたとき、ここはどこだろう。何があったのだろうか、現実に戻るまで時間がかかりました。

割れたフロントガラスから木の枝、エアバッグが膨らみ煙がたちこめ、警笛は鳴りつばなし。記憶が飛んでわかりません。意識を失い、車が縁石を乗り越えたのです。検査の結果、既往症のない心臓に欠陥があることがわかりました。その後、後遺症なのか、薬の副作用なのか、目まいで倒れたり、息切れすることなど、不思議な体験の連続でした。

最後に、生徒におだてられてはじめてマイコン。いつしかコンピュータと名を変え、五稜で最後の集大成とばかりソフトの作成に取りかかりました。退職を控えた冬休みに何とか完成し、市内の中学校に配付しました。

当時の思い出といっても、自分のことばかり思い出すのは齢のせいとお許しください。

創立五十周年を機に、五稜中の更なる発展を心から祈っております。

五稜中学校の思い出



函館市立五稜中学校
旧職員

渡辺 淳

五稜中学校には、教職最後の勤務校として、平成十二年から再任用の期間を含め六年間勤務しました。多くの明るく活発な生徒たちとの楽しかった英語の授業や、英語暗唱大会、英語祭、英語弁論大会等での立派な発表が懐かしく思い出されます。総合的学習では、三年生全員が野外劇に出演し、アイヌ、町人等の複数の役を演じ、フィナーレではペンライトをふりながら、テーマソングの「星の町HAKODATE」を歌っていた姿は感動的でした。

文化祭の合唱コンクールは、どのクラスも、早い時期から練習に取り組み、工夫を凝らし、素晴らしい合唱で、審査員を悩ますような、デッド・ヒートを演じたこともありました。部活動は十二年度にはバレーボール部を担当しましたが、ボランテニアの故小林先生の御指導で、中体連大会で廃部という厳しい環境の中でも、子供たちはよく

頑張ってくれました。

また、十三年度には野球部の顧問として、ベンチの中で、中体連大会での優勝の感動を、監督の山口先生や選手たちと一緒に味わうことができたのも、忘れられない思い出になります。

多くの生徒が早朝に、眠そうな顔をしながらも、地域の方々を取り組んだ、「亀田川清掃」からは、高いボランティア意識が感じられました。

P.T.A活動では、市P連の行事、委員会活動、文化祭の食堂、学年レク等で、子供たちのために献身的に奉仕してくれた保護者の方々の姿には、担当者として、頭が下がりました。

さて、十三年度の四十周年記念誌には、全生徒が「十年後のぼく・わたし」というタイトルで、メッセージを書きました。あれから十年経った今、どんな人生を送っていることでしょうか？ 厳しい昨今の情勢ですが、本校で学んだことを基に、若い力で頑張っていってほしいと、願っています。

五稜中学校が良い思い出を与えてくれたことに感謝し、五十周年を機に、益々発展されることを祈念いたします。



函館市立五稜中学校
旧職員

佐藤 雅博

五稜中学校は 人材の宝庫であれ

昨年、五稜中学校で初めて出した卒業生の結婚式に出席しました。新郎・新婦とも同窓だったこともあり、多くの卒業生に会うことができました。すでに二十七歳になっていた生徒はどの子も立派に成長していて、遅しく感じると同時に非常に懐かしく、教員をしていてよかったですと感じた二時でした。

私が赴任した平成八年度は各学年四学級の十二学級有り、体育大会や文化祭などの学級対抗の学校行事では、学級の個性を発揮し盛り上がりました。

特に、体育大会ではタイヤに担任を乗せて走るリレー競技があり、体重の重い私を一生懸命引っ張ってくれたことを覚えています。

学習面でも非常に優秀な学校で、常に市内でトップレベルを維持していましたし、生徒会活動では、ボランティア

委員会という独特の委員会があり、ボランティア活動などにも積極的に取り組んでいました。

部活動は、バレー部とサッカー部を指導する機会に恵まれ、生徒と汗を流しました。体育館に暖房が無く、外気と同じ温度の「二間廊下」での練習など、冬場の練習はとても大変でしたが、生徒はよく頑張っていました。

当時、五稜中学校の職員は個性豊かなベテランの先生が多く、まとまりのある職場でした。小学校の経験のみの私は、諸先輩の先生の様子を見様見真似で何とかその日一日を過ごしていました。そんな五稜中での日々が私の中学校教員生活の原点となっています。

学校は「人がつくる」もので「人をつくる」ところです。五十周年を迎えるにあたり、これからも五稜中学校が、伝統を守り益々発展していくとともに、社会に貢献する優秀な人材を輩出していくことを祈念しております。



函館市立五稜中学校
旧職員

後藤 昌樹

五稜中学校での思い出

五稜中学校五十周年おめでとうございます。私が五稜中学校にいたのはほんの短い期間でしたが、いろいろな出来事があり振り返るとその場面が次々と脳裏に蘇ります。

「五稜中では、挨拶するときの皆さんの笑顔がとても素晴らしかったです。」：平成十七年着任式で、生徒の生き生きとした笑顔が五稜中学校の第一印象でした。「先生、やばい。C組うまくなってるよ。もっと練習しなきゃ。」：合唱コンクールでは、どのクラスも熱くなっていました。芸術ホールの後ろで聞いていて鳥肌が立ったことも何度かありました。みんなに感動をくれました。「学校なんか行きたくないんだよ。何でオメエは先生なんてやってんだよ。」

：中学生は感情の起伏が激しく、時にはこんなことも。悩みもたくさんありました。「うわっ、先生、はみ出しちゃった。」

：体育大会で短パンから〇〇〇が。みんなで大笑いしたこともたくさんありました。

「うえ、気温三十七度もあるぜ。」：この暑い中三日間もいて、たった十分で終わりかよ。」：何度か出場したテニスの全道大会では、暑い北見が印象に残っています。前日焼き肉を食べ過ぎたせいか、一回戦「ゲームも取れず敗退。がっかりでした。」

「先生、学級レクやりたいんですけど。」：じゃあ、計画書作ってきなさい。」：レク実施年間最多記録樹立？毎月のように学級レクをやりました。

「先生、飾り作りました。」：「スプレーしていい？」：クリスマスディスプレイなどが大好きで、教室中飾りまくっていました。

「やったー、勝ったー！」：（マイクで）A組、失格！：体育大会のクライマックス、選抜リレー。アンカーYがイン側から追い越しをしたため失格。得点入らず、全体優勝も逃しました。

「ごめん、ビデオ撮れてなかった。」：「ええーっ」：学校祭の学級出し物「腹巻きレンジャー」撮影一日終了後にビデオカメラの不調が発覚。撮影したはずのものが全て真っ白。大ショックでした。

「あたしね、この学校に来て本当によかった。五稜中最高だね！」：二年生のとき転校してきた生徒が卒業式で言った言葉。先生やって良かったと思えました。

この五十周年を機に、五稜中学校がさらなる発展を遂げ、今まで以上に人々の素晴らしい出会いを演出し、新しい人と人との絆を作りあげてくれることでしょう。



函館市立五稜中学校
第一回卒業生

黒川 力

開校五十周年に寄せて

この度、五稜中学校開校五十周年を迎えられた事を第一回卒業生として心よりお慶び申し上げます。

五稜中学校は昭和三十六年四月に大川中学校田家分教場として発足しました。校舎が建築中であつたため現在の大川中学校に三クラス、中央中学校(現凌雲中)に併設された旧兵舎に四クラスという分割された二年生だけの中学生生活のスタートでした。旧兵舎の建物は木造で床はすり減り、壁は節穴だらけ、窓も隙間があり強風が吹くと弁当のご飯の上が砂だらけになるなど、今では考えられない中学生生活の始まりでした。

学期途中で旧兵舎の校舎に全校生徒が揃い、しばらくして新校舎が一部完成し自分達の学校へ入れたのは十二月のことでした。雪道を各自の椅子を持ち、川の土手沿いをみんなで列を作り心躍らせて引越したことが懐かしく思い出されます。新しい校舎は鉄筋コンクリート造り

二階建て、床はピカピカのタイル、明るい照明、広い運動場(実際は現在より狭い)、そして自分達だけのグラウンド。余りの違いに感激し、又、絶対汚さないようにとの先生の厳重な注意に緊張したものです。それからの五稜中学は勉強はもとより中体連での体操競技とバレーボールの優勝、陸上競技の記録連発と新設校ながら五稜中学ここにありと、華々しくデビューしました。今思うと誇らしく思い出されると同時に、恩師先生方の並々ならぬ生徒指導のお陰であつたと思います。物が有り余る現代には想像も付かないような五十年前の中学生生活。時代が違うと君たちは二言で言うでしょう。しかし、こうした歴史の上に今の五稜中学校はあるのです。そしてご苦労されて育ててくれた親御さんのお陰で君達がいるのです。

校舎があり、グラウンド、体育館があり、一生懸命指導して下さる先生方がおり、君達は中学生生活を送れるのです。当たり前だと思つてはいけません。感謝しましょう。そしてこの五十年の歴史ある五稜中学校に新たな輝かしい足跡を残せるよう更に頑張つて欲しいと第一回卒業生二同期待しております。

学校統合で歴史ある校名が消えて行く現代において五稜中学校が永遠に存在される事を心から願わずにはいられません。六十年経つても、七十年経つても思い出せるように。

私は昭和三十八年に入学し生物部に入りました。ある日曜日、学校からブランクトンネットを借り、友人と二人で五稜郭公園の堀でブランクトン採集をしました。ブランクトンネットに結んだロープを持ち、思いっきりネットを堀の中央めがけて投げ込み、ロープを手繰りよせるとブランクトンが濃縮されてネット下部に残る仕掛けで、コックを開くとピーカーに沢山のブランクトンを採集できるのです。ネットを堀に投げ入れては手繰り寄せる作業を何度か繰り返していた時のことでした。ロープが急に軽くなったと感じた瞬間、ブランクトンネットはロープから離れ、ゆっくりと水の中に沈んで見えなくなつてしまいました。学校につきかない貴重なものを堀の底に沈ませてしまい、とにかく中学校に戻り先生に助けを求めると美術の安井先生が公園に来て下さり、その後ボートを借り、長い鉤棒を携えて現場に戻られました。先生はボートの上で仁王立ちになり、鉤棒を堀の底に入れては引き上げ、入れては引き上げ繰り返して、繰り返していただきました。でもブランクトンネットは引つかかかってきませんでした。いつしか風も強くなり、ボートを常に揺らしていましたが、それでも先生は続けられていま



函館市立五稜中学校
第四回卒業生

藤井 壽夫

ブランクトンネットと 私の五稜中学校

した。「先生、もういいです。ありがとうございまして。」と何度か言ったとき、とうとう先生は「そうだ。明日〇〇先生に怒られる。」と言われ鉤に付いた水草を取るため、鉤棒を水の中に入れて軽く揺すりました。鉤棒を引き上げた時、なんと鉤の先に真っ白いブランクトンネットがついて上がつてきました。先生は嬉しそうに笑われ、私は感謝と感動のあまり涙が滲みました。五稜中には安井先生のような素晴らしい先生方が沢山いらっしゃいました。卒業後、私も教師となりましたが、教職六年目にして壁に突き当たりました。生徒の多くは反抗的で、特にN男の反発は激しかったのです。そんな時、遠足でN男が禁止されていたのに川に入り、かけていたメガネをなくしてしまいました。その時安井先生にブランクトンネットを見つけていただいたことを思いだし、解散後、海用の水中メガネを持ってN男と川に戻り、何度も何度も川に潜りメガネを捜しました。しかしなぐした場所も定かではなく、何回潜つてもさすがに見つかりませんでした。身体もすっかり冷え、あたりも暗くなつてきてとうとう川底もほとんど見えなくなつてしまいました。諦めかけたとき、川底が一瞬きらりと光つたように見えました。思いっきり手を伸ばすとN男のメガネでした。N男は涙を流しながら何度も頭を下げてくれました。私はいつも五稜中の先生方を手本に教育実践してきたと思つています。五稜中学校の先生方に心から感謝しつつ、私は来春定年退職します。



五稜中に現存するブランクトンネット



函館市立五稜中学校
第三十五回卒業生

長谷 拓

日々楽しく
生きがいを見つけて

開校五十周年おめでとうございます。多くの卒業生を輩出してきた五稜中学校。卒業生は今どのような生活をされているのでしょうか。中学卒業後、学時代の仲間と連絡をとる機会が残念ながら減ってしまいました。これから卒業する皆さんには、卒業後も仲間の輪を大切にしていってほしいと思います。

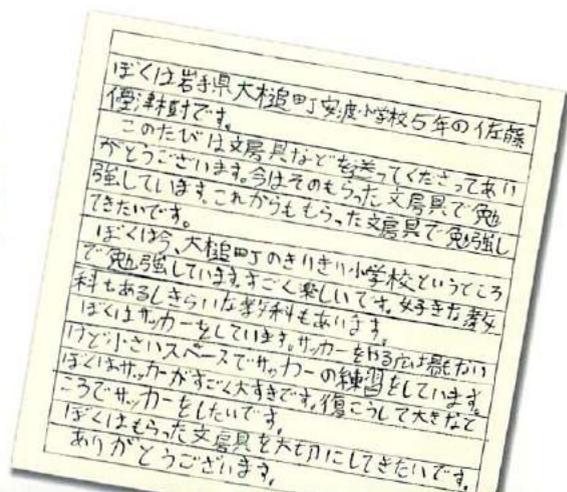
さて、なぜ今回私に原稿の依頼があったのでしょうか。恐らく中学時代からの目標を達成し、現在もそれを継続しているからだと思います。函館商業高校、公立はこだて未来大学へと進み、札幌の専門学校で教員を勤めた後、現在の会社へと転職をしました。その間、仕事と並行して目標を達成すべく努力してきました。その目標とは、「サッカーの審判」です。高校で部活動に取り組みながら最初のライセンスを

取得しました。その後、多くの壁や障害もありましたが審判生活十二年目にして日本最高ランクの二級審判員資格を函館から初めて取得することができました。現在はJリーグの一つ下の組織であるJFLを担当しています。JFLは仙台から沖縄までチームがあり、平日は仕事、休日は試合で全国を飛び回っています。周りから「忙しいねえ」と言われますが不思議なことに忙しいと思っただけではありません。なぜなら、「審判が好き」だから。もちろん、仕事も毎日充実しています。好きなことって苦にならないですよ。だから、仕事が終わって疲れていてもトレーニングを行いますし、競技規則の勉強もします。

夢や目標は、気まぐれでよく変わるものだと私は思っています。私自身、それらが何度変わったかわかりませんが、一つでも譲れないことをもつことが大切だと考えています。私にとっての「審判」がそれに当たると思っています。まだまだ成長過程の私ですが、J2→J1→世界と夢は続いていきます。この情熱をいつまでも絶やさずとなく、成長を続けていきたいと思えます。

最後に在校生、卒業生の今後の活躍とご多幸をお祈りしております。

東日本大震災 被災地との交流



お友達への架け橋プロジェクト
「小さな絆」～今、お友達へできること From 函館



岩手県大槌町立安渡小学校の児童と教職員のみなさん

五稜中の足跡





	卓球	体操	柔道	バレーボール	陸上	野球	テニス	バスケットボール	サッカー	剣道		
平成元年	優勝(男・女) 全国大会出場		3位				3位 (男・女)					
平成2年	準優勝(男)	 <p>卓球部 全国大会にて</p>										
平成3年								優勝				
平成4年	優勝(男)							3位				
平成5年	準優勝(男)							優勝				
平成6年	優勝(男)											
平成7年	優勝(男)											
平成8年	3位(男)								3位			
平成10年	3位(男)											
平成11年						3位						
平成12年							3位(女)			準優勝(女)		
平成13年		 <p>平成23年 男子テニス部</p>				優勝						
平成16年									3位(女)			
平成17年									準優勝(男)			準優勝(女)
平成18年									3位(男)			
平成19年	3位(男)								準優勝	準優勝(男) 3位(女)		
平成20年	3位(男)								3位	4位(女)		
平成21年	3位(男)								準優勝	準優勝(女)		
平成22年						3位	準優勝 (男・女)					
平成23年							3位(男)					

その他クラブの受賞歴

- ◆昭和49年 ハンドボール 準優勝(男)
優勝(女)
- ◆昭和62年 ソフトボール 3位
- ◆昭和63年 ソフトボール 3位
- ◆平成元年 ソフトボール 3位
- ◆平成6年 水泳 全国大会出場
- ◆平成10年 陸上 全国大会出場



歴代校長



3代目校長 三ツ谷毅一
(S42.6~S43.10)



2代目校長 藤川 光夫
(S40.4~S42.5)



初代校長 沼山吉之助
(S37.4~S40.3)



6代目校長 斎藤 正之
(S52.4~S55.3)



5代目校長 金沢 浩
(S48.4~S52.3)



4代目校長 梶原 四郎
(S43.11~S48.3)



9代目校長 押澤 正治
(S61.4~S63.3)



8代目校長 寺岡 守男
(S58.4~S61.3)



7代目校長 村上 健介
(S55.4~S58.3)



13代目校長 金山 正智
(H5.4~H5.10)



12代目校長 堀井 透
(H4.4~H5.3)



11代目校長 田嶋 靖彦
(H2.4~H4.3)



10代目校長 高橋 長一
(S63.4~H2.3)



17代目校長 佐野 武
(H12.4~H14.3)



16代目校長 鹿内 進
(H10.4~H12.3)



15代目校長 札内 征男
(H8.4~H10.3)



14代目校長 近野 功
(H5.10~H8.3)



21代目校長 青木 完二
(H22.4~現在)



20代目校長 坂上 範夫
(H20.4~H22.3)



19代目校長 畑野 克行
(H17.4~H20.3)



18代目校長 田村 順子
(H14.4~H17.3)



歴代教職員名簿

職名	氏名	発令・転退年月日
みどり	望月年春	S 41. 4. 1~44. 3.31
みどり	渡辺宏平	41. 4. 1~45. 3.31
みどり	勝野一生	41. 4. 1~44. 3.31
道事務職	武田政雄	41. 4. 1~46. 3.31
市事務職	藪下寛	41. 4. 1~43. 7. 1
教頭	斎藤正之	42. 4. 1~45. 3.31
教諭	笠島寿泰	42. 4. 1~48. 3.31
〃	田嶋靖彦	42. 4. 1~47. 3.31
〃	保坂武道	42. 4. 1~48. 3.31
市事務職	上杉宏子	42. 4. 1~45. 3.31
教諭	金崎紘一	42.10. 1~48. 8.15
〃	本堂潤悦	43. 4. 1~52. 3.31
用務員	木村照江	43. 5. 1~54. 3.31
市事務職	和田秀子	43. 7. 5~46. 9.21
教諭	進士継昭	44. 4. 1~51. 3.31
みどり	富士重雄	44. 4. 1~45. 3.31
みどり	佐々木峯生	44. 4. 1~45. 3.31
みどり	長尾敬子	44. 4. 1~49. 3.31
養護教諭	山田孝子	44. 4. 1~49. 3.31
用務員	熊倉利典	44. 7. 1~46. 3.31
夜警	大竹義勝	44. 7. 1~46.10. 1
教頭	村上健介	45. 4. 1~48. 3.31
教諭	川原エイ子	45. 4. 1~53. 3.31
〃	館洞光宏	45. 4. 1~53. 3.31
〃	佐々木雄幸	45. 4. 1~54. 3.31
みどり	大福栄一	45. 4. 1~50. 3.31
みどり	遠藤一郎	45. 4. 1~49. 3.31
市事務職	柳沢美代	45. 4. 7~52. 3.31
教諭	小西孝男	45. 5. 1~53. 3.31
〃	村田倅子	46. 4. 1~51. 3.31
〃	大平元昭	46. 4. 1~54. 3.31
〃	泉良子	46. 4. 1~55. 3.31
道事務職	高橋市雄	46. 4. 1~52. 3.31
用務員	高田広栄	46. 4. 5~55. 3.31
教諭	林俊夫	46. 5.25~55. 3.31
用務員	沢村佐次郎	46.10. 1~55. 3.31
夜警	藤井光雄	46.10. 1~51. 9.14
教諭	亀松光美	47. 4. 1~48. 3.31
〃	玉木忠	47. 4. 1~50. 3.31
〃	八反田稔	47. 4. 1~57. 3.31
〃	斎藤美都子	47. 4. 1~51. 3.31
市事務職	杉浦ミヤ子	47. 5. 1~54. 6. 3
教頭	小林一美	48. 4. 1~53. 3.31
教諭	小西政一	48. 4. 1~49. 3.31
〃	酒田文雄	48. 4. 1~58. 3.31
〃	井上貞興	48. 4. 1~52. 3.31
〃	田中恒也	48. 4. 1~58. 3.31
〃	猪狩一則	48. 4. 1~57. 3.31
みどり	門馬常	48. 4. 1~54. 3.31
みどり	田堰早苗	48. 7.16~54. 3.31

職名	氏名	発令・転退年月日
教頭	井上豊	S 36. 4. 1~39. 3.31
教諭	西谷富士雄	36. 4. 1~45. 3.31
〃	阿部光房	36. 4. 1~45. 4.19
〃	平沼靖雄	36. 4. 1~42. 3.31
〃	千葉和衛	36. 4. 1~39. 3.31
〃	菅原昭一	36. 4. 1~41. 3.31
〃	松井喜一	36. 4. 1~42. 3.31
〃	桜井恭子	36. 4. 1~46. 3.31
〃	永谷嘉一	36. 4. 1~48. 3.31
養護教諭	吉田ヤエ	36. 4. 1~39. 3.31
市事務職	榭田美代	36. 4. 1~42. 3.31
用務員	荒谷ミツ	36. 4. 1~43. 4. 5
〃	沖野喜久雄	36. 4. 1~40. 5. 1
〃	堤勇	36.10.11~40. 5. 1
教諭	藤原孝一	37. 4. 1~46. 3.31
〃	野々村正晴	37. 4. 1~45. 3.31
〃	石塚孝成	37. 4. 1~40. 3.31
〃	窪田曄子	37. 4. 1~43. 3.31
〃	笠井敬一	37. 4. 1~39. 3.31
〃	成田恭子	37. 4. 1~47. 3.31
〃	小川智博	37. 4. 1~40. 3.31
用務員	杉村つや	37. 5. 1~39. 3. 5
〃	庄司三郎	38. 3. 1~44. 7. 1
教諭	安井孝	38. 4. 1~44. 3.31
〃	門脇初代	38. 4. 1~49. 3.31
〃	広澤博正	38. 4. 1~42. 3.31
〃	金田豊秀	38. 4. 1~48. 3.31
〃	坂牧達夫	38. 4. 1~42. 3.31
〃	竹内巖太郎	38. 4. 1~46. 3.31
〃	荻原ハル	38. 4. 1~46. 3.31
〃	永井太郎	38. 4. 1~47. 3.31
教諭：教頭	土門厚	38. 4. 1~41. 3.31
教諭	三十刈智一	38. 4. 1~47. 3.31
〃	蘇馬辰郎	38. 4. 1~47. 3.31
〃	奥寺明	38. 5.16~41. 3.31
道事務職	日野口一男	38. 4. 1~44. 6. 3
用務員	大畑金三郎	39. 3. 5~40. 1. 3
教諭	武石光正	39. 4. 1~40. 3.31
〃	衆川俊郎	39. 4. 1~47. 3.31
〃	斉藤正宏	39. 4. 1~48. 3.31
養護教諭	婦山祥子	39. 4. 1~44. 3.31
教諭	佐々陽	40. 4. 1~41. 3.31
〃	岡本守	40. 4. 1~50. 3.31
〃	三上力也	40. 4. 1~45. 3.31
用務員	藤崎孝造	40. 5. 1~45. 4. 4
教頭	太田秀雄	41. 4. 1~42. 3.31
教諭	滝村浩平	41. 4. 1~49. 3.31
〃	福寿末太郎	41. 4. 1~42. 3.31
〃	米田忠夫	41. 4. 1~51. 3.31
〃	主藤節子	41. 4. 1~47. 3.31



職名	氏名	発令・転退年月日
〃	笠原 皓一	S 59. 4. 1~60. 3.31
〃	川島 啓右	59. 4. 1~62. 3.31
〃	伊藤 英明	59. 4. 1~61. 3.31
〃	中島 眞之	59. 4. 1~60. 3.31
用務員	伊藤 陽二	59. 4. 1~62. 3.31
教諭	大野 哲朗	60. 4. 1~ 2. 3.31
〃	吉田 孜	60. 4. 1~10. 3.31
〃	大森 武治	60. 4. 1~62. 3.31
〃	吉田 美奈子	60. 4. 1~H6. 3.31
市事務職	佐古 恵美	60. 5.20~62. 3.31
時間講師	井上 嗣仁	60.11. 1~60.12.24
教頭	目下 修三	61. 4. 1~62. 3.31
教諭	上田 陽子	61. 4. 1~H4. 3.31
〃	木村 達	61. 4. 1~H4. 3.31
〃	増川 四郎	61. 4. 1~H4. 3.31
〃	吉田 安宏	61. 4. 1~H8. 3.31
〃	国田 礼子	61. 4. 1~H2. 3.31
道事務職	泉 郁子	61. 4. 1~H5. 3.31
教頭	多田 敏夫	62. 4. 1~H2. 3.31
教諭	高橋 一也	62. 4. 1~H8. 3.31
〃	辰宮 稔	62. 4. 1~H5. 3.31
〃	村井 貞夫	62. 4. 1~H8. 3.31
〃	海老名 潔	62. 4. 1~63. 3.31
〃	田村 順子	62. 4. 1~H7. 3.31
養護教諭	斉藤 直美	62. 4. 1~H6. 3.31
市事務職	小川 ムツミ	62. 4. 1~63. 3.31
用務員	近江谷 千春	62. 4. 1~H7. 3.31
期限教諭	平野 史子	62. 6.18~63. 2.22
教諭	斉藤 克己	63. 4. 1~H5. 3.31
〃	松山 元彦	63. 4. 1~H9. 3.31
〃	山本 忠行	63. 4. 1~H2. 3.31
〃	古館 勉	63. 4. 1~H7. 3.31
市事務職	稲葉 陽子	63. 4. 1~H5. 3.31
用務員	松本 恭右	63. 4. 1~H7. 3.31
教諭	佐藤 泰治	H 元. 4. 1~ 5. 3.31
〃	浅井 庸子	元. 4. 1~ 5. 3.31
〃	木村 以久子	元. 4. 1~ 9. 3.31
〃	中谷 満	元. 4. 1~ 8. 3.31
〃	石井 壽八	元.12. 1~ 3. 3.31
日直	堀 俊邦	元. 4. 1~12. 3.31
教頭	高村 昭三	2. 4. 1~ 4. 3.31
教諭	井筒 泰三	2. 4. 1~ 6. 3.31
〃	杉山 春吉	2. 4. 1~ 9. 3.31
〃	大村 俊幸	2. 4. 1~10. 3.31
〃	渡辺 悦子	2. 4. 1~ 3. 3.31
〃	渡辺 ゆみ子	2. 4.16~ 3. 3.31
時間講師	藤原 しのぶ	2. 4.16~ 3. 3.31
教諭	信田 博之	3. 4. 1~10. 3.31
期限教諭	中村 三千代	3. 5. 1~ 5. 3.24
教頭	斉藤 正宏	4. 4. 1~ 6. 3.31
〃	辰巳 美恵子	4. 4. 1~10. 3.31
〃	萩野 雅彦	4. 4. 1~11. 3.31
〃	内木 竜	4. 4. 1~ 8. 3.31
期限教諭	磯川 千代美	4. 8.17~ 5. 9.22
講師	加藤 実	4. 4.20~ 5. 3.24
教諭	岩崎 鶴好	5. 4. 1~ 9. 3.31
〃	笹谷 巖	5. 4. 1~14. 3.31
〃	藤森 剛	5. 4. 1~ 7. 3.31
〃	成田 牧	5. 4. 1~ 9. 3.31

職名	氏名	発令・転退年月日
教諭	深栖 久佳	S 48. 8.16~58. 3.31
〃	伊藤 邦子	48. 4. 7~53. 4. 3
〃	早崎 石子	48. 4. 7~62. 3.31
〃	島 貫 讓	49. 4. 1~57. 3.31
〃	毛間内 茂二	49. 4. 1~56. 3.31
〃	永田 裕三	49. 4. 1~55. 3.31
みどり	谷口 幸一	49. 4. 1~54. 3.31
養護教諭	春田 むつゑ	49. 4. 1~55. 3.31
教諭	鹿角 令夫	50. 4. 1~58. 3.31
〃	平向 貞重	50. 4. 1~59. 3.31
〃	長岡 正昭	51. 4. 1~59. 3.31
〃	阿部 雍朗	51. 4. 1~60. 3.31
〃	長尾 祥子	51. 4. 1~57. 3.31
〃	伊藤 英実	51. 4. 1~59. 3.31
〃	鈴木 利治	51. 4. 1~56. 3.31
夜警	松田 千秋	51. 9.24~52. 3.31
教諭	室 富夫	52. 4. 1~56. 3.31
〃	板東 忠康	52. 4. 1~61. 3.31
道事務職	島村 和子	52. 4. 1~61. 3.31
市事務職	小川 安紀子	52. 4. 1~55. 3.31
日直代行	伊部 長	52. 4. 1~53. 4. 3
教頭	辻 俊治	53. 4. 1~57. 3.31
教諭	安井 歳男	53. 4. 1~61. 3.31
〃	大久保 雄治	53. 4. 1~54. 3.31
給食	熊谷 トシ	53. 5. 1~H11. 3.31
日直代行	穴竈 栄作	53. 5. 1~54.12.21
教諭	杉谷 宏	54. 4. 1~62. 3.31
日直代行	原田 岩雄	54.12.22~57. 3.31
教諭	竹村 英夫	55. 4. 1~62. 3.31
〃	坂田 法行	55. 4. 1~59. 3.31
〃	大坂 邦子	55. 4. 1~64. 3.31
養護教諭	日向 泰子	55. 4. 1~62. 3.31
市事務職	中川 英俊	55. 4. 1~60. 5.15
臨時事務	齋藤 ひとみ	55. 4. 1~56. 3.31
用務員	小林 勇	55. 4. 1~63. 3.31
〃	安藤 ヤユエ	55. 4. 1~60. 3.31
教諭	佐々木 一夫	56. 4. 1~H2. 3.31
〃	渡辺 満	56. 4. 1~63. 3.31
〃	石井 壽八	56. 4. 1~63. 3.31
〃	石名坂 克明	56. 4. 1~62. 3.31
臨時事務	安栗 恵理子	56. 4. 1~57. 3.31
用務員	小柳 昭治	56. 4. 1~59. 3.31
〃	寺田 博	56. 6.27~60. 5.15
代替講師	山路 満理子	56.10.26~56.11.19
教頭	亀松 光美	57. 4. 1~61. 3.31
教諭	網塚 剛充	57. 4. 1~60. 3.31
〃	小林 康秀	57. 4. 1~63. 3.31
〃	小林 一雄	57. 4. 1~59. 3.31
〃	橋詰 尤子	57. 4. 1~64. 3.31
臨時事務	長内 美帆子	57. 4. 1~58. 3.31
日直代行	山崎 易	57. 4. 1~58. 3.31
教諭	寺根 正善	58. 4. 1~63. 3.31
〃	山岸 岩夫	58. 4. 1~ 2. 3.31
〃	三河 和宏	58. 4. 1~ 2. 3.31
〃	石津 兼一	58. 4. 1~63. 3.31
日直代行	立川 行恵	58. 4. 1~63. 3.31
講師	松本 明	58. 4.16~58. 6.16
期限教諭	石橋 典幸	58. 4. 6~58. 6.24
教諭	武田 蓉子	58. 6.16~64. 3.31



五稜中の足跡

職名	氏名	発令・転退年月日
相談員	後藤 信夫	H 14. 6. 3~15. 3.31
期限教諭	森 美絵子	14.12. 7~16. 5.31
教諭	須藤 誠一郎	15. 4. 1~21. 3.31
〃(再任用)	笹原 五郎	15. 4. 1~16. 3.31
〃(再任用)	中村 史	15. 4. 1~16. 3.31
市職嘱託	歩仁内 里美	15. 4. 1~19. 3.31
教頭	青木 昌史	16. 4. 1~17. 3.31
教諭(再任用)	渡辺 淳	16. 4. 1~18. 3.31
〃(再任用)	石名坂 克明	16. 4. 1~18. 3.31
用務員	高村 秀喜	16. 4. 1~21. 3.31
相談員	笹原 五郎	16. 7. 5~17. 3.24
教頭	中谷 満	17. 4. 1~19. 3.31
教諭	山口 啓子	17. 4. 1~23. 3.31
〃	後藤 昌樹	17. 4. 1~23. 3.31
〃	関谷 正二	17. 4. 1~20. 3.31
給食	大門 加奈子	17. 4. 1~
直	寺島 憲児	17. 4. 1~18. 3.11
直	深井 敏也	18. 3.12~19. 9.30
教諭	岡本 憲幸	18. 4. 1~22. 3.31
〃	金丸 裕之	18. 4. 1~20. 3.31
〃	水野 温	18. 4. 1~20. 3.12
〃	石塚 奈津子	18. 4. 1~
〃	小林 哲子	18. 4. 1~
道事務職	石山 貴司	18. 4. 1~
教諭	川端 裕介	18. 4. 1~23. 3.31
期限教諭	中田 美紀	18. 1. 1~19.10.30
教頭	信夫 恵美子	19. 4. 1~20. 3.31
教諭	阿部 真琴	19. 4. 1~23. 3.31
〃	黒川 達朗	19. 4. 1~
市職嘱託	中村 和子	19. 4. 1~
期限教諭	祖父江 俊介	19. 4. 2~20. 3.31
直	斉藤 衛	19.10. 1~23. 3.31
教頭	三浦 佐和子	20. 4. 1~23. 3.31
教諭	吉田 亨	20. 4. 1~22. 3.31
〃	八木橋 裕司	20. 4. 1~
期限教諭	吉野 敬一	20. 4. 1~21. 7.31
用務員	波松 洋	20. 4. 1~
教諭	佐藤 伸幸	21. 4. 1~
養護教諭	小林 恵美子	21. 4. 1~
期限教諭	小野寺 直樹	21. 4. 1~22. 3.31
用務員	野村 司	21. 4. 1~
教諭	中村 英彦	22. 4. 1~
〃	小野寺 清孝	22. 4. 1~
期限教諭	高橋 洋	22. 4.16~
〃	菊地 功	22. 4. 1~22. 7.25
教頭	小川 弘	23. 4. 1~
教諭	野坂 正己	23. 4. 1~
〃	笠松 英治	23. 4. 1~
〃	坂本文子	23. 4. 1~
直	棟方 勝美	23. 4. 1~

職名	氏名	発令・転退年月日
期限教諭	亀谷 美美子	H 5. 5. 1~ 5.11. 3
講師	小林 孝雄	5. 4.20~ 6. 3.24
事務職員	登坂 紀子	5. 5. 1~ 7. 4. 3
〃	三上 のり子	5. 4. 1~12. 3.31
教頭	山岸 秀一	6. 4. 1~ 9. 3.31
教諭	後藤 賢一	6. 4. 1~12. 3.31
養護教諭	森 豊子	6. 4. 1~13. 3.31
用務員	坪田 正明	6. 4. 1~11. 3.31
教諭	名古屋 貞俊	7. 4. 1~10. 3.31
〃	田中 篤子	7. 4. 1~13. 3.31
〃	山口 哲也	7. 4. 1~16. 3.31
事務職員	熊倉 啓恵	7. 5. 1~ 9. 2.25
用務員	工藤 康博	7. 4. 1~12. 3.31
時間講師	松田 髯郎	7. 5. 1~ 9. 2.25
教諭	阪井 恒雄	8. 4. 1~11. 3.31
〃	越田 喜忠	8. 4. 1~14. 3.31
〃	伊勢 健	8. 4. 1~14. 3.31
〃	辻 吉隆	8. 4. 1~11. 3.31
〃	佐藤 雅博	8. 4. 1~15. 3.31
〃	浦野 志織	8. 4. 1~12. 3.31
時間講師	川上 潤	8. 4.16~ 9. 3.31
臨時事務	竹内 さとみ	9. 2.26~10. 3.31
教頭	小林 武征	9. 4. 1~10. 3.31
教諭	鮫川 静穂	9. 4. 1~11. 3.31
〃	大宅 剛	9. 4. 1~14. 3.31
〃	桑野 健一	9. 4. 1~17. 3.31
〃	戸田 修	9. 4. 1~10. 3.31
時間講師	高島 貞真	9. 4.16~10. 3.31
教頭	山本 俊秀	10. 4. 1~13. 5.15
教諭	鶴 宗三郎	10. 4. 1~21. 3.31
〃	菊地 康幸	10. 4. 1~17. 3.31
期限教諭	竹田 京子	10. 9. 7~11.11.26
教諭	輪島 陽子	10. 4. 1~15. 3.31
期限教諭	伊藤 美保	10. 4. 3~11. 3.31
時間講師	渡邊 節子	10. 4.16~11. 3.31
相談員	岩崎 鶴好	10.10.19~12. 3.31
事務職員	槽山 栄子	10. 4. 1~15. 3.31
教諭	笹原 五郎	11. 4. 1~15. 3.31
〃	大山 裕香	11. 4. 1~18. 3.31
期限教諭	小阪 忠弘	11. 9.16~11.12. 1
用務員	山口 秀夫	11. 4. 1~16. 3.31
給食	稲垣 良子	11. 4. 1~13. 3.31
教諭	渡辺 淳	12. 4. 1~16. 3.31
〃	阿部 眞美	12. 4. 1~18. 3.31
相談員	今井 正夫	12. 5. 8~14. 3.31
道事務職	相原 郁夫	12. 4. 1~18. 3.31
期限教諭	小林 巧平	12.10.17~12.12.23
直	高島 優	12. 4. 1~17. 3.31
用務員	高野 雄二	12. 4. 1~20. 3.31
教諭	七宮 義通	13. 4. 1~17. 3.31
養護教諭	武田 輝代	13. 4. 1~21. 3.31
時間講師	川尻 健二	13. 4.16~14. 3.31
教頭	高橋 登実	13. 5.16~16. 3.31
教諭	日角 朱実	14. 4. 1~19. 3.31
〃	小田 桐智	14. 4. 1~21. 3.31
〃	木村 麻岐	14. 4. 1~19. 3.31
〃	南条 恵二	14. 4. 1~18. 3.31
期限教諭	丸山 淳子	14. 4. 1~15. 3.31
時間講師	棚上 圭	14. 4. 8~15. 3.31



年 度	学級数	生徒数	卒業生数			
			男 子	女 子	合 計	累 計
昭和36年度	7	304				
昭和37年度	12	617				
昭和38年度	19	899	162	148	310	310
昭和39年度	19	885	192	138	330	640
昭和40年度	19	834	139	139	278	918
昭和41年度	21	865	163	143	306	1,224
昭和42年度	21	842	163	114	277	1,501
昭和43年度	21	835	144	134	278	1,779
昭和44年度	22	819	158	128	286	2,065
昭和45年度	21	785	134	124	258	2,323
昭和46年度	20	728	134	112	246	2,569
昭和47年度	19	700	126	117	243	2,812
昭和48年度	19	705	128	99	227	3,039
昭和49年度	18	654	102	97	199	3,238
昭和50年度	18	655	113	98	211	3,449
昭和51年度	18	662	129	92	221	3,670
昭和52年度	18	660	108	95	203	3,873
昭和53年度	18	624	123	90	213	4,086
昭和54年度	14	570	96	83	179	4,265
昭和55年度	15	600	107	92	199	4,464
昭和56年度	15	581	76	103	179	4,643
昭和57年度	15	568	86	96	182	4,825
昭和58年度	15	590	101	95	196	5,021
昭和59年度	15	594	92	92	184	5,205
昭和60年度	15	638	102	110	212	5,417
昭和61年度	16	663	108	94	202	5,619
昭和62年度	16	668	102	111	213	5,832
昭和63年度	15	642	115	109	224	6,056
平成元年度	15	583	101	111	212	6,268
平成2年度	15	528	94	101	195	6,463
平成3年度	14	489	84	79	163	6,626
平成4年度	13	465	91	79	170	6,796
平成5年度	12	451	70	86	156	6,952
平成6年度	12	438	79	67	146	7,098
平成7年度	12	445	66	76	142	7,240
平成8年度	12	425	73	74	147	7,387
平成9年度	11	380	80	69	149	7,536
平成10年度	10	332	63	60	123	7,659
平成11年度	9	304	61	45	106	7,765
平成12年度	9	288	44	57	101	7,866
平成13年度	9	292	44	49	93	7,959
平成14年度	9	279	47	46	93	8,052
平成15年度	8	262	50	52	102	8,154
平成16年度	7	241	44	43	87	8,241
平成17年度	7	253	37	36	73	8,314
平成18年度	8	270	36	37	73	8,387
平成19年度	8	260	53	48	101	8,488
平成20年度	8	246	42	51	93	8,581
平成21年度	7	224	39	29	68	8,649
平成22年度	8	223	48	41	89	8,738
平成23年度	6	185				

各年度学級数・生徒数・卒業生数



歴代PTA三役名簿

年度	会 長						
昭36	鈴木 義浄	副会長 監査	谷岡 純海 棚池 神治	角田 亮治 石田 政治	又坂日出生 及川 キリ		
昭37	鈴木 義浄	副会長 監査	谷岡 純海 棚池 神治	角田 亮治 石田 政治	又坂日出生 及川 キリ		
昭38	鈴木 義浄 又坂日出生	副会長 監査	谷岡 純海 棚池 神治	角田 亮治 石田 政治	又坂日出生 掛端 石松	笹島吉平(副理)	
昭39	千葉 順亮	副会長 監査	宮下 昌三 棚池 神治	国立亨太郎 石田 政治	笠島 吉平 掛端 石松		
昭40	笹島 吉平	副会長 監査	石田 政治 上沢 辰雄	国立亨太郎 中野 義郎	棚池 神治 坂 丈二	寺下 兼代	
昭41	笹島 吉平	副会長 監査	葛城喜三松 福崎 正彦	棚池 神治 菅原 道雄	寺下 兼代 坂 丈二		
昭42	笹島 吉平	副会長 監査	葛城喜三松 福崎 正彦	棚池 神治 菅原 道雄	寺下 兼代 坂 丈二	篠崎津枝子	
昭43	寺島 兼代	副会長 監査	葛城喜三松 今井久五郎	荒川 定治 村山 貞雄	菅原 道雄 花田 剛	畑 露子	
昭44	菅原 道雄	副会長 監査	池田 泰 田島 秀雄	荒川 定治 野崎 悦郎	村山 貞雄 筒井 義定	山口シズエ	
昭45	筒井 義定	副会長 監査	池田 泰 田島 秀雄	野崎 悦郎 堀江 市三	柴田 祐司 富士 正	山口シズエ	
昭46	筒井 義定 池田 泰	副会長 監査	国立亨太郎 田島 秀雄	柴田 祐司 島脇康悦郎	池田 泰 富士 正	今野 汀子	荒川定治(月報)
昭47	池田 泰	副会長 監査	国立亨太郎 田島 秀雄	荒川 定治 島脇康悦郎	柴田 祐司 富士 正	高萩 圭子	
昭48	国立亨太郎	副会長 監査	石畑 克巳 田島 秀雄	高萩 賢一 石岡 喜八	工藤 猛 山内 勝次	柴田 和	
昭49	国立亨太郎	副会長 監査	石畑 克巳 玉木 稔	工藤 猛 及川己佐男	今野 汀子 坂 丈二	柴田 和	
昭50	工藤 猛	副会長 監査	石畑 克巳 及川己佐男	小原 幸男 菊地 健	今野 汀子 小芝 慶一	柴田 和	
昭51	石畑 克巳	副会長 監査	小原 幸男 菊地 健	川野 宗男 小芝 慶一	金浜 松雄 新明 道子	吉村 和子	
昭52	石畑 克巳	副会長 監査	小原 幸男 菊地 健	向井 愛子 小芝 慶一	金浜 松雄 渡辺 淑子	吉村 和子	十倉 久子
昭53	石畑 克巳	副会長 監査	菊地 健 小芝 慶一	向井 愛子 中村 一郎	金浜 松雄 稲葉 哲子	吉村 和子	十倉 久子
昭54	石畑 克巳	副会長 監査	沢口 俊郎 中村 一郎	阿部 良子 飯田 寿子	山田 光治 真狩 啓子	稲葉 哲子	和田 京子
昭55	石畑 克巳	副会長 監査	杉山 博康 飯田 寿子	阿部 良子 真狩 啓子	菊地 富男 中村 繁	稲葉 哲子	福留 陽子
昭56	菊地 富男	副会長 監査	杉山 博康 飯田 寿子	阿部 良子 福留 陽子	中村 繁 工藤 秀雄	幸田 小夜	真狩 啓子
昭57	杉山 博康	副会長 監査	大吉 啓 福留 陽子	尾山 和子 伊勢 悦子	中村 繁 山川ヤス子	工藤 秀雄	真狩 啓子
昭58	菊地 富男	副会長 監査	大吉 啓 中村 浩	工藤 秀雄 山川ヤス子	楠川 明男 松下 蒔子	藤井 信子	真狩 啓子
昭59	菊地 富男	副会長 監査	大吉 啓 中村 浩	宮崎 公彦 山川ヤス子	楠川 明男 福留 陽子	藤井 信子	真狩 啓子
昭60	楠川 明男	副会長 監査	佐藤 勉 中村 浩	宮崎 公彦 笹野 桂子	笠原 由子 掛端 光夫	藤井 信子	福留 陽子
昭61	楠川 明男	副会長 監査	掛端 光夫 笹野 桂子	宮崎 公彦 石黒 博邦	笠原 由子 森 芳久	藤井 信子	福留 陽子

歴代PTA三役名簿

年度	会 長						
昭62	楠川 明男	副会長	掛端 光夫	新野 紀子	工藤 秀雄	藤井 信子	石黒 博邦
		監査	村上みどり	佐々木優子	森 芳久		
昭63	工藤 秀雄	副会長	秋山 靖彦	赤川久美子	山田 信幸	藤井 信子	佐藤 昭子
		監査	石黒 博邦	笹野 桂子	森 芳久		
平 元	工藤 秀雄	副会長	秋山 靖彦	佐藤 昭子			
		監査	石黒 博邦	田口 靖彦			
平 2	工藤 秀雄	副会長	佐藤 一美	山田 信幸			
		監査	高橋 昭	田口 靖彦			
平 3	廣部 七郎	副会長	佐藤 一美	柴山 浩子	上田真由美		
		監査	高橋 昭	田口 靖彦			
平 4	廣部 七郎	副会長	佐藤 一美	上田真由美	宮崎 利彦		
		監査	菅原 康德	石黒 敦子			
平 5	廣部 七郎	副会長	佐藤 一美	上田真由美	宮崎 利彦	大野 厚子	
		監査	菅原 康德	石黒 敦子			
平 6	鈴木康二郎	副会長	大平美栄子	上田真由美	大野 厚子		
		監査	菅原 康德	石黒 敦子			
平 7	鈴木康二郎	副会長	大平美栄子	上田真由美	長内 靖子	大野 厚子	
		監査	菅原 真子	塩谷ミツ子			
平 8	鈴木康二郎	副会長	大平美栄子	長内 靖子	菅原 真子		
		監査	池田 つよ	塩谷ミツ子			
平 9	鈴木康二郎	副会長	小泉真智子	上戸 房子	菅原 真子		
		監査	池田 つよ	近藤 和行			
平10	鈴木康二郎	副会長	小泉真智子	上戸 房子	長内 靖子	菅原 真子	
		監査	榊 まり子	近藤 和行			
平11	近藤 和行	副会長	小島恵津子	上戸 房子	長内 靖子		
		監査	榊 まり子	小上 元子			
平12	近藤 和行	副会長	小島恵津子	上戸 房子	長内 靖子		
		監査	高橋美和江	小上 元子			
平13	近藤 和行	副会長	高橋美和江	敦澤ひとみ	榊 まり子		
		監査	笹谷佐津代	竹村 綾子			
平14	近藤 和行	副会長	高橋美和江	敦澤ひとみ	竹村 綾子	榊 まり子	
		監査	笹谷佐津代	大越 淑恵			
平15	敦澤ひとみ	副会長	中谷 直子	笹谷佐津代	竹村 綾子	榊 まり子	
		監査	土肥 早苗	中西 美貴			
平16	中谷 直子	副会長	土肥 早苗	中西 美貴	大越 淑恵	有岡 肇	
		監査	金 まゆみ	門傳 明美			
平17	中谷 直子	副会長	木佐聖一郎	中西 美貴	金 まゆみ	門傳 明美	
		監査	坂本 優子	柳田 春美			
平18	木佐聖一郎	副会長	柳田 春美	門傳 明美	金 まゆみ		
		監査	坂本 優子	渡邊由美子			
平19	堀川 次郎	副会長	柳田 春美	坂本 優子	渡邊由美子		
		監査	吉村 篤子	木田利恵子			
平20	益井 基	副会長	吉村 篤子	木田利恵子	渡邊由美子		
		監査	久末 結佳	橋本紀美子			
平21	益井 基	副会長	三浦由貴子	木田利恵子	久末 結佳	高橋恵美子	
		監査	盛 正人	國門 卓也			
平22	益井 基	副会長	三浦由貴子	國門 卓也	盛 正人	田原 昭子	
		監査	工藤 純子	對馬 貴子			
平23	對馬 浩	副会長	三浦由貴子	工藤 純子	對馬 貴子	中村 広之	
		監査	田原 昭子	大谷 睦子			



五稜中の足跡



平成23年 現PTA三役

【後列】 田原さん 大谷さん 工藤さん
【前列】 對馬(貴)さん 三浦さん 對馬(浩)さん 中村さん



平成23年 バザー

PTA活動のあゆみ



平成23年 給食試食会



平成6年 小物作り



昭和36年 母の会料理講習会

編集後記

「五稜中学校創立五十周年記念誌」発行にあたり、ご多用にもかかわらず、原稿依頼を快く引き受け、寄稿して下さった方々、また、ご助力を賜った数多くの方々に心から感謝の意を表します。

学校の変遷を限られた紙面の中でどのように表現したらよいかと悩みながらの作業が続きましたが、ようやく完成・発刊の運びとなりました。この記念誌をお読みになり、改めて五稜中学校の歴史を振り返っていただければ幸いです。

現在、社会情勢や学校を取り巻く様々な環境はめまぐるしく変わってきております。そんな中でも、これまでの多くの先輩、先生方が築き上げてきた五稜中学校の伝統は「五稜三訓」として現在の生徒たちに受け継がれ、実践に向けての取り組みが行われております。これから五稜中学校を巣立つ生徒も、この「五稜三訓」の精神を胸に刻み、社会を支えていく一人の人間として大きく成長していくことでしょう。

終わりに、本校の教育活動にご支援、ご協力をいただいておりますPTA会員・同窓生・地域の皆様・関係各位の方々に感謝を申し上げ、皆様の益々のご健勝を祈念して編集後記といたします。

誠にありがとうございました。

記念誌部会一同

創立五十周年記念実行委員会

- ◇会 長 對馬 浩
- ◆副 会 長 小松 将人
- ◇名 誉 会 長 青木 完二
- ◆事 務 局 長 小川 弘
- ◇事 務 局 次 長 坂本 文子
- ◆会 計 三浦由貴子・對馬 貴子・工藤 純子・中村 広之
- ◇監 査 田原 昭子・大谷 睦子

* 各部正副部長

・ 式典・祝賀部会

- ◇部 長 野坂 正己 副部長 小林恵美子

・ 記念誌部会

- ◆部 長 中村 英彦 副部長 笠松 英治

・ イベント部会

- ◇部 長 高橋 賢 副部長 佐藤 伸幸

函館市立五稜中学校 創立五十周年記念誌

五十年のあゆみ

平成23年10月20日発行

- ◆発行／函館市立五稜中学校
函館市田家町5番17号 電話 (0138) 41-3458
- ◆印刷／株式会社 島本印刷
函館市末広町13番27号 電話 (0138) 26-1201

